

地方史情報 146

2020年11月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	新潟県	34	大阪府	48
宮城県	2	富山県	35	兵庫県	53
秋田県	7	福井県	36	奈良県	54
山形県	8	山梨県	36	和歌山県	54
茨城県	9	長野県	37	岡山県	55
栃木県	11	岐阜県	41	広島県	56
群馬県	11	静岡県	42	徳島県	58
埼玉県	11	愛知県	43	愛媛県	59
千葉県	16	三重県	44	宮崎県	60
東京都	17	滋賀県	44	沖縄県	61
神奈川県	28	京都府	46	寄贈図書	61

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834
年5000円

◇80 2020.9 B5 12p

地名のサマツケは何か横なのか

小林 耕一

由仁町岩内にナイが無いことから読み解く地名の古さ

一地殻変動により地形が変化し地名が残った

中野 良宣

網走川筋のチヌケブ川とケミチャブ川

山下 栄光

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階
TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇380 2020.9 A4 8p

表紙 カリカリウス遺跡堅穴群(標津町) 2018年4月撮影	小野 哲也
食文化の魅力を地域活性化につなげたい 「受け継ぎたい北海道の食」	
動画コンテスト	蝦名 理恵
松前神楽の保存伝承と地域社会との関わり	常盤井武典
司馬さんが描いてくれたスケッチ	野村 崇
シリーズ・伝える	
富良野彌榮太鼓保存会～太鼓の響きで富良野を描く	澤田 健
まちのイチオシ カニ缶詰のはじまり	猪熊 樹人
文化財 NOW(3) 文化財は過去と未来をつなぐ道民の財産	
博物館のひろば 没後50年の節目をむかえて	
神田日勝記念美術館	川岸真由子
考古学者 北溝保男先生の逝去を悼む	竹田 輝雄

宮 城 県

◆石巻学 石巻学プロジェクト(発行:荒蝦夷)

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643

2015年創刊

◇5 2020.09 A5 1700円

《特集 石巻と文学》

吉増剛造「石巻」を語る

小説「宿題」

ドリアン助川

南浜町の辺見庸さん

大谷 尚文

終着駅からの出発—吉村昭・津村節子のふたり旅のはじまり

大島 幹雄

紀行文を旅する

古関 良行

小特集 石巻と短歌

言葉で見つめる

近江 瞬

短歌部カブカブ短歌集

まちでまなぶ

伊藤 成美

わだのは

岩倉 日

綺麗

加藤 奨人

雀島トワイライト・ゾーン

阿部 達人

融けるのを待つ

岩崎 綾

知らない道

齋藤麻理奈

七歳までは夢の中

千葉 楓子

サイレンの尾
真っ白な花のように

小特集 女川中学の俳句のその後
愛すべきみらいのために我が道を
伊藤唯さんと女川1000年後のいのちを守る会
言葉を杖に立ち上がる
—『女川一中生の句 あの日から』十四歳の九年後
「言葉」をつなぐ3・11—国語教育と震災
アンケート 震災後に読んで、心に残った本は何ですか？
「石巻と文学」ブックリスト
日和山慕情
石巻さかな族列伝(5) 漁師を支えて三陸からトンガへ
元宮城県水産技術総合センター研究員 佐々木良
本間家蔵出しエッセー(5) 橋本晶記念資料
「橋本学」石巻を知る多才な郷土史家
岡田劇場物語(5) コロナ危機の中で

近江 瞬
佐藤 珠莉

伊藤 唯
阿部 一彦

小野 智美
大島かや子

梅里 石雪

高成田 章

本間 英一
大島 幹雄

日本貿易振興機構 海外貿易センター 日本貿易振興機構 海外貿易センター 	Vol.19 No.44 平成19年10月25日発行 発行所：日本貿易振興機構
目次	
新年度企業活動のプラットフォーム構築！	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2
「食と健康」をキーワードに、食生活の改善を促す取り組み	2

* 3月に予定していた総会と講演会をコロナ禍により無期延期とすることで、「会員近況スペシャル 私とコロナ」を小特集し、7名の会員が日々の生活の様子や考えたことを綴っている。

津田光輝「札幌にて」は、遺著のつもりで出版した『二〇年後の若ものに伝える平和へのメッセージ-昭和の戦争を二度とくりかえすな-』に、事実誤認や誤植を指摘され、正誤表を作って寄贈先や購読者に郵送する作業で外出自粛期間の大半を費やしたという。自宅にこもる時間があったことが幸いしたとも言えよう。春名徹「歴史研究者として」は地元の鎌倉市立図書館や国立国会図書館、倉田有佳「市立図書館を通して見た新型コロナウイルス」は函館市中央図書館がサービ

スを縮小したことで、研究に支障を来したが、平常に戻りつつあることで図書館の存在感を再認識したとのこと。このような時だからこそ開かれた図書館への期待が大きいのだと思う。河元由美子「マスク考」は、とかく評判の悪い「安部のマスク」の改良法を提案する。ほかの方々も、コロナに負けずにしたたかに生きている。それぞれに軽妙な語り口に引き込まれる。

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会

〒989-6156大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 TEL0229-22-7364

年3000円 1985年創刊

◇43 2020.09 B5 94p 1000円

道鏡、守る会

あとひと踏ん張りを

道鏡、歪曲の歴史を糾す

弓削姓の方々に呼び掛けては？

道鏡禅師像造立

奈良時代の下野

栃木県茂木町の孝謙・道鏡伝承地

道鏡のこもり堂

萬松寺をたずねて

古東海道(三浦半島走水→房総半島へ)

「酒匂川」か「酒勾川」か

斎宮跡を訪ねて

福德寺の納豆供養 春日大社詣で

わが好きなロマンあふれる宇佐の地

「落人伝説のロマン」について

大島延次郎博士と弓削道鏡

玄昉と道鏡と道真と弘法大師と

八百万の神々について

道祖神考

道鏡様を訪ねつつ

巨根石像が祀られることについて

栃木県における医学略史と耳鼻科疾患の民間療法

百万塔

『消された「帰化人」たち』を読んで

井沢氏の本を読んで

上田氏と北山氏の本を読んでみました

関 貴与

船生 史郎

松本 守博

田村新太郎

道鏡を知る会

北條 茂

片岡 秀雄

藤井 伸一

岡崎 信行

速水 神社

田中 伸於

石川 和子

田中 實之

萩原 憲司

船生 史郎

菊地 卓

阪井 昇道

船生 史郎

倉石 忠彦

小菅 大康

高橋 義泰

日野原 正

田村新太郎

船生 史郎

矢吹 道德

田中 龍夫

天皇、豪族、万葉	木下 是良
須田勉先生『古代東国仏教の中心寺院—下野薬師堂』(2012年 新泉社)	
を読む	萩原 憲司
会、会誌の今後を探りながら	本田 義幾
和気清麻呂	和気 正芳
歴史にみる「悪人」の素顔	大塚泰二郎
消された教科書	くがもりよし
追悼	
日野原正先生を偲んで	高橋 昭夫
(日野原正さん)	佐藤紀代子
吉村光右さんに捧げます	渡辺 力榮
(吉村光右さん)	佐藤 保雄
ベレー帽が懐かしい 大島志朗さん	石川 和子
(大島志朗さん)	S・K
田中實之氏のご逝去を悼む	小菅 充
叔父・若菜弁三を悼む—道鏡を守る会・表紙絵	飯野きよ子
松本守博さんを偲び	本田 義幾
藤井伸一さんを思い出して	本田 義幾
法王道鏡の寺を発掘する—由義寺はなぜこれほどまでに注目を集めるのか(講演大要)	樋口 薫
天武は天皇王家の後継者か	高橋 昭夫
東国の覇者毛野豪族	高橋 昭夫

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科

Tel.022-795-6022 2005年創刊

◇15 2019.12 A5 305p

ロバート・N・ペラーの「軸の時代」考

—カール・ヤスパースからの展開を視点にして	華園 聰磨
ファン・デル・レーウにおける宗教現象学方法論の形成過程	木村 敏明
世界の壊滅と再生—中国神話における自然災害	楊利慧／山田仁史・訳
岩手県江刺人首のキリスト教(2)	
—教会消滅の現実に潜む地域人口の減少と過疎化問題	及川 宏幸
酒づくりと邪視(Evil Eye)—ネワールの酒文化と失敗の説明論	工藤さくら
家庭祭壇に置かれる「モノ」の物質性	
—日本の正教徒宅にある家庭祭壇の比較を通して	佐崎 愛

『海上の道』に見る柳田国男のタカラガイ観 佐藤 亜美
20世紀プロテスタント教会における他宗教への取り組み：

第1回IMCから第3回IMCの宣教理念 佐々木謙一
慈しみの心こころを養う：仏教に基づく慈悲の瞑想実践とケアへの適

応可能性、そして学際的研究の役割についての探求

ネイサン・慈心・ミシヤン／工藤さくら・訳
臨床宗教師ならではのケア：宗教的スピリチュアルケアのはざままで 大村 哲夫
想い出の場所 シベリア鉄道日記 山田 仁史

◆東北民俗 東北民俗の会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊 <http://www.tohokuminzoku.com>

◇54 2020.6 A5 104p 1000円

東北民俗の会公開講演会 仙台駄菓子と民俗学

一石橋幸作と東北民俗の会をめぐって 佐藤 敏悦
明治後期における渡波塩田の堀と舟運 星 洋和
土地の石をめぐる石工の伝承(3)一石によるくらしの道具 小田嶋利江
宮城県のハリストス正教会(2)一教会・伝道地の変遷消長を整理する 及川 宏幸
村葬と戦没者記念碑から見た戦没者の慰霊

一宮城県気仙沼市(旧本吉郡大島村)を事例として 郭 立東
猫を祀る蚕養神社の養蚕信仰一岩手県一関市花泉町 石黒伸一郎
吉田三郎の著作にみる溜池灌漑 今井 雅之
志摩・前島半島における海難者供養

一志摩市志摩町片田の「浜遊び」を事例に 小野寺佑紀
進藤松司の「漁民手記」 川島 秀一
雷の昔話 稲 雄次

◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643
<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇44 (vol.19) 2020.8 A4 44p

若宮丸漂流民パンフレット発行！

「長くてややこしい話」をベラ1枚に 大野 康世
漂流地とナアツカかを探せ(1) 大島 幹雄
蜀山人とレザノフと若宮丸漂流民 小松 芳文
宮城学院女子大学での授業実践から 齋藤 博

- 日露関係に隠された絵図や地図 佐藤三寿夫
 善六と新蔵翻訳の日本地図 大島 幹雄
 書籍紹介
 自著紹介 はるかな間宮林蔵の旅を追う『追跡 間宮林蔵探検ル
 ト』相原秀起著 相原 秀起
 『ロマノフ王朝時代の日露交流』東洋文庫・生田美智子監修／牧野
 元起編集 牧野 元起
 会員近況スペシャル 私とコロナ
 おずおずと日常生活へまず一歩 木村 成忠
 歴史研究者として 春名 徹
 札幌にて 津田 光輝
 市立図書館を通して見た函館と新型コロナウイルス 倉田 有佳
 もどかしい日々には漂流民を想う 滝川 祐子
 辺境の地アラスカから 河内 牧栄
 マスク考 河元由美子
 告知板 書籍紹介 『鎖国時代・海を渡った日本図』小林茂・永用俊
 彦・鳴海邦匡・小野寺淳・立石尚之編

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室
 TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊
<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇134 2040.4 A5 102p 2100円

- 後漢宦官の出自と婚姻関係 中本 圭亮
 日本中世訴訟研究における「属縁主義」—学説史と展望 黒瀬 にな
 平沼騏一郎と第一次日独伊三国同盟交渉 手嶋 泰伸
 書評 小口雅史編『北方世界と秋田城』 大高 広和
 2019年度東北史学会大会 公開講演要旨
 ミドルレンジセオリーと日本考古学 阿子島 香
 明朝の日本国冊封と上杉景勝に贈られた冠服・兵部劄 新宮 学

秋 田 県

◆秋田近代史研究 秋田近代史研究会

〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1 柴田知彰方 TEL018-807-3290
 1958年創刊 <http://www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm>

◇59 2020.9 B5 30p 1000円

自著『秋田の軍隊』の「追録」に関して
大正14年東宮秋田県行啓と配属将校制度

長沼 宗次
高橋 務

◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322
年4000円 1973年創刊

◇46 2020.7 A5 51p 1364円

戦時下の秋田県の民俗芸能振興

日本海を往来した北前船

民謡「おばこ」と「おばこ」という言語変遷

カセドリのカセからナモミを考える

研究会報告 第三十六回東北地方民俗学合同研究会について

小田島清朗
鎌田 幸男
加藤 義親
石郷岡千鶴子
小野 努

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322
年4000円 1974年創刊

◇130 2020.6 B5 4p

モチモライのこと

石郷岡千鶴子

山 形 県

◆村山民俗 村山民俗学会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 年3000円
1988年創刊 <http://www.geocities.jp/murayamaminzoku/>

◇34 2020.7 B5 60p

肥前長崎での街探訪—半沢氏「旅日記」中巻から

「念仏踊り」調査ノート

村山・置賜地方の「シカマ」姓の分布について

印鑰神明宮と王祇神 「多賀城」「最上城」「山形城」の位相

山形県寒河江市平塩のお塞神様祭りと伝承についての一考察(前編)

山形県最上郡は「鮭の大助譚」の宝庫

戦時体制下の出羽三山信仰

野口 一雄
菊地 和博
清野 春樹
大江 良松
荒井 久宣
村田 弘
岩鼻 通明

◆山形史学研究 山形史学研究会

〒990-0021山形市小白川町1-4-12 山形大学地域教育文化学部 歴史学研究室

内 TEL028-628-4391 <https://ymgt-shi.jimdofree.com>

◇48 2020.8 A5 57p

山形県にサクランボを導入したのは三島通庸か？

小幡 圭祐

白鳥氏の興隆と滅亡について

—とくに谷地入部と白鳥十郎長久の討死を中心として

保角 里志

近世後期宗教家の石碑と社会的事業

—北庄内鉄門海石碑調査等を中心にして

杉原 丈夫

史料紹介 米沢藩の疱瘡対策史料と明治期のコレラ関係石碑

青木 昭博

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 1987年創刊

◇33 2020.4 B5 74p 800円

置賜野川の「三淵(淵)明神」信仰と地域生活

菊地 和博

置賜地方在住の仏師たち(続編)

渡邊 敏和

山形県内の古代地名、人名のアイヌ語解釈

清野 春樹

強力と長木について

渡辺 幸任

「珍事聞書 六」翻刻と解題

小田純市／岩鼻通明

紹介 『新訳 日本奥地紀行』全10巻 イザベラ・バード著

金坂清則訳【オーディオブック】

岩鼻 通明

県内の主な民俗関係出版物(2018年9月～2019年8月)

茨 城 県

◆歴史文化研究(茨城) 歴史文化研究会(茨城)

〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B 205 三石善吉方 TEL047-345-5323

年5000円 2014年創刊

◇7 2020.7 A5 150p

巻頭言 スペイン風邪パンデミック、コロナ＝パンデミック

三石 善吉

『新論』以前、初期の会沢正志斎の思想

吉田 俊純

「人を食う礼教」と言う表現が生まれるまで—鲁迅「狂人日記」から胡適

「『呉虞文禄序』」までの経過とその背景考察

関口 順

ヒトラーの「戦友」フィンランドにおける「ユダヤ人問題」

三石 善吉

唯物史観の問題点

鎌倉 孝夫

古典抄 『藤岡屋日記』・雑記

鈴木 俊一

随感録 私とコロナ

三石善吉／岩崎久雄／于乃明／太田力三／佐々木俊

一／笹島正／椎温美／白井護／丸谷一喜／山本潤

渡辺義浩『三国志 正史の英雄たち』

吉田 俊純

鎌倉孝夫『新自由主義の展開と破綻—『資本論』による分析と実践
課題』

桐原 邦夫

*「随想録 私とコロナ」の特設サイトを設けて、会員から日常生活の報告を募ったものである。10人の会員からの17点の投稿を掲載する。同一者が2020年4月10日頃と一か月後の5月17日頃に状況を報告しており、状況の変化が分かって興味深い。

5か月勤務で採用された非正規労働者からは、4月に予定していた東京都労働局のバイトの面接が5月に延期になり、運よく採用されたものの、正規職員が在宅勤務になる中で、コロナに怯えながら毎日出勤しても有給休暇はなく、雇用保険の失業給付も要件をみたさないととのことで支給されないと、非正規雇用の格差の実態が報告される。台湾の会員は、一般的な防疫心得と国立大学の対応策を20項目にまとめて紹介している。2003年のSARSの経験から、具体的で、かつ、マスク不着用での電車搭乗が場合によっては逮捕に至るなど罰則を伴う厳しいものである。台湾がコロナを最小限に封じた事情がよく分かる。

前書きに、別の会員からの、「コロナ禍の普通の日常生活のレポートとして、数十年後に価値が出てくれかもしれません」とのコメントが紹介されている。まったく同感である。

◆飛耳長目 長久保赤水顕彰会会報

〒318-0103高萩市大能341 佐川春久方 年3000円

<http://nagakubosekisui.org>

◇30 2020.5 A4 17p

祝 長久保赤水関係資料693点が国民の財産に

国の重要文化財指定が決まる
長久保赤水関係資料 国の重要文化財指定記念誌 絵本「りゅうのひ
かり」

栃 木 県

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇116 2020.7 A4 4p

《特集 栃木の疫病と医療》

明治一二(一八七九)年のコレラ流行

大嶽 浩良

下野国における腑分について

菊地 卓

齋藤玄昌と壬生藩の種痘

中野 正人

民俗事象に見る病や魔への対応

宮田 妙子

群 馬 県

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇163 2020.9 B5 8p

目安箱の紛争解決機能

小嶋 圭

前橋市内の東道について

須藤 聡

厩橋城内「天神山」に関する覚書—古墳の城郭への転用の一事例

長谷川明則

書誌紹介 小宮山楓軒『懷宝日札』『寛政七年西遊記』『楓軒傳記』

井野 修二

新刊紹介 真田用水研究会／田中修・丑木幸男編著『沼田藩真田用水

群の魅力—美田を拓いた真田氏五代—』

永島 政彦

短信 群馬歴史資料継承ネットワークの設立

長谷川明則

埼 玉 県

◆武蔵野 武蔵野文化協会

〒362-0011上尾市平塚976-5 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918

年4000円 1918年創刊

◇359・360 (95-1・2) 2020.5 A5 702p

《特集 『武蔵野』創刊100周年記念号 「武蔵野事典」》

- I 自然編 武蔵野の自然と環境 基盤の自然(1)―気候／基盤の自然(2)―地形・地質・水・埋立地／基盤の自然(3)―武蔵野の昔の動植物／基盤の自然(4)―武蔵野の現在の植物／基盤の自然(5)―武蔵野の現代の動物／基盤の自然(6)―自然を守る／生活の自然(1)―学園都市と自然／生活の自然(2)―団地と自然／生活の自然(3)―農業と自然／生活の自然(4)―産業と自然／文化の自然(1)―園芸文化と自然／文化の自然(2)―花見の文化と自然／文化の自然(3)―文芸・絵画と自然
- II 環境編 武蔵野の環境 環境と農業／環境と園芸文化／城壁のない都市の環境／特異な城下町の環境／武家屋敷と環境／天下普請と環境／庭園都市と環境／大名屋敷と環境／江戸大名庭園と環境／庭園の消滅と環境変化／太政官布達公園と環境／市区改正と環境／都市環境と郊外環境／グリーンベルトと環境／みどりと環境／新しい時代と環境／農の風景と環境／環境と江戸・東京の庭園 (図版)
- III 考古編 武蔵野の考古学
- 1 旧石器時代 時代概要と人類の誕生 武蔵野台地の自然環境と旧石器遺跡／旧石器時代の武蔵野は冷涼な火山灰台地／武蔵野で活躍した旧石器人の生活と文化／旧石器遺跡の発掘調査から学ぶもの／武蔵野編年は全国旧石器編年の基盤になった／旧石器技術の頂点―ナイフ形石器から細石刃へ
 - 2 縄文時代 時代概要と縄文時代の始まり 縄文早期・定住化の始まり／縄文時代の生業活動と四季／縄文時代の遺跡の環境／住居の要件と火入れ行為／縄文集落のなぞ／心性・集団表象と地域性／縄文時代のおわり
 - 3 弥生時代 稲作文化の伝播・住居・集落と構造／弥生前期土器発見の解釈／弥生土器の編年と地域性／墓制・方形周溝墓／道具と機能／環境集落と戦争・武器
 - 4 古墳時代・飛鳥時代 前方後円墳の築造と歴史的意義／埴輪祭祀と威信財の機能／古墳石室の型式と変遷／群集墳と横穴墓―その地域性と構造／終末期古墳と上円下方墳／律令制と初期寺院の建立
 - 5 歴史時代(古代～中世～近現代)
時代概要と文化の特質 武蔵国の成立と東山道武蔵路の整備／武蔵国府の成立と展開／国華に相応しい武蔵国分寺とその造営／須恵器・瓦の生産と流通／土師器・須恵器と瓦の編年／集落・

生産地と古代の開発

中世 概要と文化の特性 板碑の造立と展開／海路から見た中世石塔の移動／渡来銭と舶来品(唐物)／居館・館・山城の造営背景と分布

近世考古学の発展 江戸御府内の考古学／葬送と墓制／近世墓制の問題／信仰と祭祀／石と木と土／庭園のデザイン／江戸の陶器・陶磁器の流通と国際化／近世の産業と交流

産業考古学と近代産業 武蔵野の煉瓦／交通と駅舎／戦争遺跡とアーカイブズ

IV 歴史編

1 古代(飛鳥・奈良・平安時代) 古代の武蔵 国造と屯倉／武蔵国の成立と国府／郡と郷／渡来人と武蔵国／駅路と駅家／国分寺と国分尼寺／式内社と神階授与／武蔵野への仏教の弘布—中世・近世を含む／神火と正倉の焼失／都で活躍した武蔵野人／高麗氏の活躍／日本霊異記の武蔵国説話／荘園と牧／武蔵国の産業と流通／平将門の乱と武蔵野／延喜式と和名類聚抄に見る武蔵国／古代武蔵野の災害／古代武蔵国の河川

2 中世(鎌倉～南北朝・室町・戦国時代)

鎌倉時代の武蔵国(1)(2)(3)—武士団と地域・政治と軍事・元寇と武蔵武士 武蔵武士(1)—留住貴族・在庁／武蔵武士(2)—武蔵七党／河内源氏の抗争と大蔵合戦／保元・平治の乱と武蔵武士／平家と武蔵守／治承・寿永の内乱と武蔵武士／合戦物語に見る武蔵武士—史実と虚構／鎌倉武士の誕生生育儀礼—女性史の観点から／悲劇の武蔵武士—敗れ去った武蔵武士／鎌倉幕府の武蔵国経営／鎌倉幕府と武蔵武士—所領の拡大と西遷・東北遷武士／文永・弘安の役と武蔵武士／安達・足立氏の滅亡と霜月騒動／鎌倉幕府の滅和棒と武蔵武士

南北朝・室町・戦国時代の武蔵国 南北朝内乱と武蔵武士／関東府の確立と武蔵武士／関東府の崩壊と武蔵武士／享徳の乱と長尾景春の乱／江戸城主太田道灌の活躍／古河公方と武蔵国／後北条氏(小田原北条氏)の武蔵進出／武蔵野地域領主(1)—大石氏・三田氏の系譜と支配／武蔵野の地域領主(2)—北武蔵の地域領主／北条氏照の領域支配と戦争／後北条氏の北武蔵支配／小田原衆所領役帳と武蔵野国／武蔵野の城館跡／検地と家臣団編成／品川湊と太平洋海運／伝馬制度と水運／職人と商人の活躍／上杉謙信の関東出陣と越相同盟／武田信玄の武蔵攻略／

小田原合戦と武蔵野

- 3 近世(江戸時代) 近世の武蔵野 徳川氏入封と江戸の成立／武蔵野を治めた旗本たち／様々な代官／八王子千人同心／街道の形成と宿場／水運と河岸場／明暦の大火と武蔵野／村のすがた／農民の一年／百万都市江戸の形成／享保期の新田開発／宝永富士山と天明浅間山大爆発／江戸の火事と火消／武蔵野の災害／近世後期の江戸の変貌／掘り出された江戸／江戸の名物／畑作と商品作物／武蔵野の炭／武蔵野の水車／火付盗賊改と八州廻り／武蔵野の剣術／江戸の出版文化／村の文化と文芸／寺社と参詣・講／江戸の生活とその記録者／村の生活記録
- 4 近現代(明治・大正・昭和・平成時代) 近現代の東京・武蔵野
ペリー来航と武蔵野／浪士組・新選組と武蔵野／彰義隊と武蔵野／府県界の変遷／武蔵野の神仏分離／築地居留地／上水道と下水道の近代化／武蔵野の鉄道／木版画に描かれた東京・武蔵野／武蔵野の自由民権運動—五日市憲法の背景／普選運動と婦人参政権獲得運動／渋沢栄一と東京周辺の産業振興／武蔵野のシルクロード／武蔵野の地場産業／武蔵野の鋳物業—川口の鋳物／印刷業と東京／東京湾埋立と京浜工業地帯／東京の水害と都市構造／関東大震災と復興／モダン文化の開花／東京の拡大と郊外の変容—田園都市と学園都市／郊外の遊楽／軍都だった東京—その歴史の変遷／二・二六事件と帝都・武蔵野／武蔵野の空襲／武蔵野の戦争遺跡／地下鉄・市電／東京の道路整備／新幹線の建設／東京オリンピックとパラリンピック／多摩ニュータウンと市民運動
- 5 武蔵野の道 武蔵野の歴史の道 武蔵野の道(1)(2)(3)—政治・軍事の道／武蔵野の道(4)—日光社参への道／武蔵野の道(5)—政治・経済の道／武蔵野の道(6)—信仰・経済の道
- V 民俗編 武蔵野の祭り行事と民俗芸能 江戸里神楽とその源流／板橋の田遊び／浅草神社のびんざさら王子田楽—田楽系統の民俗芸能／三匹獅子—風流の芸能／祭りばやし／式三番／双盤念仏／山車・笠鉦・屋台—都市祭礼の系譜／小河内の鹿島踊と下平井の鳳凰の舞—風流系の民俗芸能
- VI 文学・地誌編 武蔵野の文学と地誌 万葉集と武蔵野／日記・紀行文／更級日記の世界／武將と歌人／近世の俳諧／近世の和歌と漢詩文／近世の地誌／盲目の古典学者塙保己市／近世の紀行文／武蔵野と文学／武蔵野の作家と詩人／近代の地誌
- VII 文化財編 武蔵野の文化財—“武蔵野”を題材に 武蔵野と建築

／関東の仏像(1)―飛鳥時代～平安時代／関東の仏像(2)―鎌倉時代
～江戸時代／中世武蔵の鋳物師／作刀と奉納太刀(1)―武蔵下原刀
／作刀と奉納太刀(2)―奉納太刀／武蔵野に残る中世の甲冑／武術
と砲術／古代中世の経典／描かれた中近世の武蔵野／武蔵野の板碑
―その歴史性・美術性／鎌倉の焼き物

VIII 人物編 武蔵野文化人名録 凡例・参考文献・目次／武蔵野文
化人名録(232氏)

IX 補遺編 歴史編(武蔵国概念図・古代・中世・近世・近現代・文
化財編)／考古編「武蔵野の考古・歴史系博物館・資料館一覧表」

X 年表編(横組) 年表編について・参考文献 近現代編(明治・
大正・昭和・平成時代)／近世編(江戸時代)／中世編2(南北朝・室
町・戦国時代)／中世編1(鎌倉時代)／古代編(飛鳥・奈良・平安時
代)／考古編(旧石器・縄文・弥生・古墳・歴史時代)

XI 索引編

事務局編 武蔵野文化協会(前身武蔵野会)・『武蔵野』 創立・創刊一
〇〇周年のあゆみ



*鳥居龍蔵の主宰で、「武蔵野の自然並に人文の発達を研究し且つ其の趣味を普及するを目的」に、武蔵野会が設立されたのが1916年、機関誌『武蔵野』の創刊は、それから2年後の1918年である。武蔵野会は1948年に武蔵野文化協会に発展的に改組され、『武蔵野』は360号を重ねて今日に到っている。

その100周年を記念し、武蔵野地域を自然、環境、考古、歴史、民俗、文学・地誌、文化財、人物と、あらゆる角度から俯瞰して、78名の執筆者が5年がかりで事典形式にまとめた700ページに及ぶ大冊である。しかし、各項目は2000字以内に収められ、文末には参考文献を付し、図版等も豊富で読みやすい。また、人物は過去に『武蔵野』に執筆した1000名を超える研究者などから、掲載数の多い

232名などを選出し、「武蔵野文化人名録」と名付けたもので、壮観である。巻末の77ページを費やした年表は詳細で、金石文など近年発見された新出重要資料を網羅しているという。索引も充実し、読み解く事典としてどのページを開いても楽しめる。

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

◇219 (通526) 2020.8 A4 6p

治五郎銅造建立を果たして

美崎 大洋

古文書解説火曜部会 7・8月活動報告

脇 明子

山崎弁栄上人 没後百年顕彰事業「弁栄展」

近江 礼子

速報！ 我孫子駅前「道路開通碑」の建碑は明治38年1月と判明

編集委・岡本和男

◇220 (通527) 2020.9 A4 8p

岡本新会長を、よろしくをお願いします。

関口 一郎

みんなで市史について何かを創りあげたい

岡本 和男

我孫子市文化財保存活用地域計画案へのパブリックコメント

郷土資料センター推進会

古文書解説日曜部会 9月の活動報告

文政十年「伊勢太々参詣銭別覚帳」

清水千賀子

古文書解説火曜部会 9月の活動

文化元年「御野馬捕人足御赦免願一件扣」

丹羽 鼎

井上家文書研究部会 9月活動報告

金成 典知

令和2年度定例総会議事録

書記・鈴木江里子

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部日本史学研究室

1985年創刊

◇42 2020.3 B5 14p

史料研究ノート 旗本富永氏と石神村「御林」

立石 了

石神区民館史料調査 参加記 第三次大喜多町石神区有文書調査ほか

調査幹事・原基香／小泉詩織・鈴木凜・平岩渉・増田琴子

東 京 都

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇125 (44-5 通208) 2020.9 A5 116p 2000円

《特集 アイヌ施策推進法と首都圏のアイヌ民族》

特集にあたって／脱植民地主義という課題

アイヌ民族に関する立法をめぐる

アイヌ民族としての私

祖母、母、私、親子三代のアイヌの活動

編 集 部

谷口 滋

島田あけみ

宇佐 照代

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇630 2020.8 A4 4p

建部巢兆ほか《合作盃》—足立を支えた交友

行政文書に見る足立区の水害記録(16)

展覧会出展資料紹介 谷文晁《画学斎手本》

◇631 2020.9 A4 4p

足立区文化遺産調査報告

日本画家・渡辺省亭 西三筋町五十番地からののはがき 山崎尚之／多田文夫

行政文書に見る足立区の水害記録(17)

山崎 尚之
はい、文化財係です。(20) 佐竹抱屋敷跡—足立区と秋田藩主佐竹氏 佐藤 貴浩

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇389 2020.8 A4 8p

第14回区民研究発表会 竹内秀夫氏「波郷『江東歳時記』を読む」、

高橋昭一氏「私の受けた教育勅語教育」、永利茂夫氏「綾瀬文化の

まちづくり」、土田秀夫氏「町に出て地域を学ぶ中学生」、木嶋孝行

氏「学童疎開から平和祈念碑まで」

学童疎開平和祈念碑と体験記

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(1)

堀川 和夫
編・堀川和夫

足立の先人譚 千住編・6 千住に地縁・周縁を結んだ人々

森静雄／森林太郎／小金井喜美子

相川謹之助

疎開学童の生活を支えた村人の支援 疎開数駆動への野菜供出

小泉武男氏論考 控え

「紙魚のたわごと 紙漉きの源流を求めて その2」

故 小泉 武男

◇390 2020.9 A4 8p

学童疎開平和祈念碑建立確定／新しく作成中のミニパンフ『学童集団

疎開平和祈念碑が伝えるもの』

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(2)

編・堀川和夫

足立の先人譚 千住編・6 千住に地縁・周縁を結んだ人々

内田銀蔵博士／銀蔵博士の後輩・河合栄治郎展を

相川謹之助

第14回区民研究発表会 石田波郷「江東歳時記」を読む 竹内秀夫氏

／私が受けた教育勅語教育 高橋昭一氏／綾瀬文化のまちづくり

永利茂夫氏／花畑地区に大学がくる 土田秀夫氏／学童疎開から平

和祈念碑建立まで 木嶋孝行氏

小泉武男氏論考 控え 「紙魚のたわごと 紙漉きの源流を求めて

その3」 組合の変遷／一船一町／日脚／紙衣(子)／浅草紙(並六)

故 小泉 武男

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇133 2020.9 A4 8p

表紙 聖火ランナーの集合写真(1964年10月8日 府中市役所前)

1964東京オリンピックと府中 その2 聖火府中市に到着

佐藤 智敬

最近の発掘調査 中世の府中用水?! 本町二丁目

佐藤 梨花

NOTE 星景写真を撮ろう!

本間 隆幸

府中の史料に見る江戸時代の流行病(2)

疱瘡から我が子を守るために…

花木 知子

府中の都市動物 BLACK LIST(1) 雑木林に毒の針

中村 武史

平成史に残る天文・宇宙イベント(6) 冥王星がなくなった!?

塚田小扶里

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682

1966年創刊 <http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/>

◇305 2020.5 B5 20p

表紙写真解説 小豆沢神社の注連縄づくり

写真と文・井上富夫

市(区)民農園の歴史

松崎 憲三

常盤台天祖神社文書について(2)―戦時下のまつり

小林 保男

区政つれづれの記(1) 教育編(1)

松浦 勉

医院長を勤め上げた吾が姉の生涯

渡部 環

ひろば 戦時中の小学校(国民学校)の下駄の思い出

松澤 歌子

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇434 2020.7 B5 24p

招かざるもの、新型コロナ禍…そして

小泉 重光

山の動物あれこれ期記

加藤 恒彦

思い出の中の藤本さん(1)

藤本さんは「はいつニュース」に生きている

町田 尚夫

越生町の慈雲閣について

小泉 重光

山徒然(10)

関口 洋介

伊豆ヶ岳への参道・男坂と女坂

小泉 重光

◇435 2020.9 B5 24p

不寛容な時代とコロナ禍

小泉 重光

秩父日野沢の耕地を結ぶ旧道

小泉 重光

思い出の中の藤本さん(2) 藤本一美氏追悼号の感想文と追悼の詩

町田 尚夫

久しぶりの武甲山

吉田美知子

訃報 遠山元信さんのご逝去を悼む

町田 尚夫

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇219 2020.9 A4 8p

催事スケッチ 鹿児島県加計呂麻島の諸純シバヤ・実久三次郎神社大

祭 南の島に伝わる不思議な踊り 諸純シバヤ 鹿児島県大島郡瀬

戸内町大字諸純 大屯神社 旧暦9月9日／実久三次郎神社大祭 鹿

児島県大島郡瀬戸内町大字実久 実久三次郎神社 旧暦9月9日

写真と文・久保田裕道

レポート 儀礼文化講座(令和2年度第2回) 仏教「法華経の美術と

儀礼」講師:木内堯大

書棚 『日本の民俗宗教』松尾恒一著

特集 シリーズ・儀礼文化のいま(1)「礼法のいま―小笠原礼法―」

お話・弓馬術礼法小笠原道場三十一世宗家 小笠原清忠氏

会員を訪ねる 太宰府天満宮／藤崎八幡宮

追悼 石井一躬氏を偲んで

石井先生の思い出

久保田裕道

父と儀礼文化と

石井 嘉生

◆月刊神田画報 カンダデザイン

〒101-0064千代田区神田猿樂町2-2 澤田ビル206 TEL03-3296-7121

◇150 2020.6 A4 4p

なんだかんだ「錦橋」

昔むかしの神田探訪(68) お茶の水の崖にあった「自由学校」

酔馬 主水

◇154 2020.10 A4 4p

昔むかしの神田探訪(72) 多町市場と將軍上覧の南瓜

酔馬 主水

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇282 2020.7 A4 8p 400円

金剛山正福寺・地藏堂(国宝)

服部 建人

紅葉ウォーキング二〇一九

湧水池と雑木林の庭 実篤公園を訪ねて

伊東 勝

◆すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要

〒131-0033墨田区向島2-3-5 TEL03-5619-7034 2015年創刊

http://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryoku/kyoudobunka/

◇6 2020.3 A4 19+109p

鐵牛禪師と弘福寺

川本 恭子

明治六年(一八七三)の納涼花火・花火船の禁止過程

福澤 徹三

福音紙芝居の成立—最初期の作品群に見る今井よねの紙芝居観

高塚 明恵

史料紹介 東京都中央区立郷土天文館所蔵『片岡家文書』について(2)

金子 千秋

史料翻刻

「弘前藩庁日記(江戸日記・宝永元年十二月)」

福澤 徹三

津軽家文書「分限帳(宝永三年 御日記方)」2

福澤 徹三

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇252 2020.9 B5 31p

高勝寺「子育て大祭」と水子供養

林 京子

三峯様のお飯屋

下平 武

人は何と「縁」を切りたいのか―縁切り絵馬の分析から

高橋 成

沖縄県八重山郡竹富町西表島の口承文芸

星野 岳義

◆世田谷区立郷土資料館だより

〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-29-18 TEL03-3429-4237 1983年創刊

◇72 2020.3 B5 8p

大場家住宅改修記念 大場家の歴史と代官屋敷

世田谷代官の職務／第10代当主大場弥十郎／大場代官屋敷の空間と

量／大場家の家紋／大場家の美術 文責 角田裕子・松浦瑛士・鈴木泉

◆せたがやの文化財 世田谷区教育委員会生涯学習・地域学校連携課文化財係

〒154-8504世田谷区世田谷4-21-27 TEL03-5432-2726 1989年創刊

www.city.setagaya.lg.jp

◇32 2020.3 A4 8p

次大夫堀公園民家園再整備基本構想を策定しました

文化財事業報告 セタガヤ歴史文化物語

文化財事業報告 令和元年せたがや文化創造塾／特別公開 勝國寺木

像薬師如来像／旧清水邸書院活用事業一呈茶

文化財事業報告 郷土歴史文化特別授業／第14回世田谷区遺跡調査・

研究発表階／2020世田谷区遺跡発掘調査速報展「最近の発掘・整理

調査から」／第12回野毛古墳まつり

文化財事業報告 近代世田谷消防史 町の発展と防災／夏休みミニ展

示「すこし前の世田谷一米づくり」／ミニ展示「すこし昔の暮らし

―ご飯をつくる・食べる」／民家園の展示

重要文化財 「大場家住宅」の保存と活用について

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogeinfo>

◇345 2020.8 A4 2p 100円

すたすた坊主に後継者？

夏が旬であった？ 甘酒

湯出菽(枝豆)売り／京阪にあって江戸にない生業 黒木売り、苳売り、

乾物売り・鯡昆布巻売り

◇346 2020.9 A4 2p 100円

女(娘)義太夫／かぶき／女力持ち

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇142 2020.8 B5 6p

多摩地域における都市化の進展

近辻 喜一

多摩地域の市町村

梶原喜世子

多摩の地名と歴史 狭山丘陵に関白が来た？

―旧勝楽寺村「近衛殿やしき」からの推考

内野 正

事務局から うちで学ぼう 発表要旨とともに

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<http://www.tamashin.or.jp>

◇179 2020.8 A5 120p

《特集 旧石器時代から縄文時代へ》

旧石器時代から縄文時代への移行期はどのような時代か

佐藤 宏之

あきる野市前田耕地遺跡とはどのような遺跡か

尾田 識好

狩りの道具の変化から見える動物資源への適応

橋詰 潤

土器出現と縄文文化の胎動

谷口 康浩

洋風建築への誘い(68) 中野さんの家(がんこ武蔵野立川屋敷)

伊藤 龍也

建物雑想記(63) がんこ武蔵野立川屋敷 中野邸

酒井 哲

古文書は語る(56)

疫病コレラの治療法と予防への対応―吉野家文書「御用留」より

馬場 憲一

多摩の金融史(13) 昭和四〇年代前半の中嶋榮治と多摩信

佐藤 政則

多摩の歴史を立体視！―赤色立体地図の風景 6 赤色立体地図で見

る東京の四万年―多摩川左岸の遺跡分布の動向を探る

野口 淳

本の紹介

くにたち郷土文化館編『「赤い三角屋根」誕生―国立大学町開拓の

景色』

中元 幸二

日野市立教育センター編『歩こう 調べよう ふるさと七生(第2版)』

小杉 博司

武蔵村山市立歴史民俗資料館編『村山の重松囃子』

小峰 孝男

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須絃一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇144 2020.9 A4 6p

産業遺産が豪雨で流失 旧西日本製紙深山水力発電所 文・写真 奥原一三
半世紀過ぎても活躍する「乗車券自動販売機」

—長崎県営バスのターミナル

文・写真 田中耕作

ちょっと一休み 乱歩生誕の地の碑 名張市 文・柚須絃一／写真・田中耕作
時空間の絶妙な構成、人とモノ、技術と経営の程良いバランス

ドイツ保存鉄道時刻表「Kursbuch der deutschen Museums-

Eisenbahnen」について

文・写真 久保 健

文献紹介 『まちを再生する 公共デザイン インフラ・景観・地域

戦略をつなぐ思考と実践』 西村亮彦・福島秀哉・山口敬太編著 多田 統一

国立科学博物館の YS-11 が移設

文・写真 柚須絃一

機械遺産、新たに5件認定～動画コメントをHP掲載

事務局

文献紹介 『東京カイシャハッケン伝 GUID 19』 東京都産業労働局

雇用就業部就業推進課編集・発行

多田 統一

茨城県下妻市の赤煉瓦建築物(2) 江連用水旧溝宮裏両樋(2) 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631

年2000円 2002年創刊 <http://www.tokyo-sensai.net>

◇37 2020.7 A4 12p

《リニューアル記念特集号》

展示のリニューアルを終えて

吉田 裕

リニューアル開館します

早乙女勝元

リニューアルオープンに寄せて

新世代へ向かう東京大空襲・戦災資料センターの開館に向けて

西尾 静子

センターにつどう若い世代から

大学生・高校生を中心とした平和サークル IPeace

夏休み特別企画の案内 今こそ、「平和といのちのバトン」をつなご

う!! 主催：東京大空襲・戦災資料センター 後援：江東区教育委員会

特集 新しくなった展示の紹介

東京大空襲被災地図(下町・都心部)―焼失地域・仮埋葬地・慰霊碑

戦時下の日常

石橋 星志

焼夷弾、アメリカ軍の戦略と兵器

小藺 崇明

1945年3月10日の東京大空襲 「3月10日の火災」、「夜の体験」

石橋 星志

1945年3月10日の東京大空襲 「昼の光景」

山本 唯人

朝鮮人の空襲被害

石橋 星志

焼き尽くされる東京(4月・5月)

千池 健太

多摩地域(東京西部)への空襲

千池 健太

名前と顔写真の壁

千池 健太

証言映像の部屋 モノ＋カタリ映像シリーズ

山本 唯人

早乙女 愛

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇53 2020.7 B5 16p

巻頭言 不可視な存在と対話の日本の民俗音楽(芸能)

星野 紘

研究発表要旨

わらべうたと童謡の旋律の比較分析

河瀬彰宏／高木俊貴

ブータン西部八県のツェンモ〜民俗信仰との関係性

伊野義博／黒田清子

日本の郷土芸能における音空間の可変性に着目した授業デザイン

山本 真弓

「コロナ禍」の最中での薬師寺「修二会(通称、花会式)」のご報告

中山 一郎

図書紹介

電子書籍版：『阿蘇の神輿歌』・『宮崎の神楽の音楽』の出版について

松永 建

『阿蘇の神輿歌』(会報第37号「新刊紹介」より再録)

小島 美子

◆練馬古文書研究会会報

〒178-0065練馬区西大泉3-15-14 寒河江耕作方 TEL03-3922-5487 1985年創刊

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/>

◇64 2020.7 B5 4p

2020年度講演 信長の覇業を支えた明智光秀

谷口 研語

上石神井村の草分け

本橋 竹文

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇128 2020.8 B5 4p

練馬駅北側風景の変遷と知られざる悲劇
箱根用水

葛城 明彦
土屋 正孝

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇107 2020.9 A4 4p

東京文化財ウィーク2019 尾崎遺跡の展示説明会／石神井公園ふるさと文化館 石神井城跡発掘パネル展、特別公開「小野蘭山墓誌」、通年公開「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」

練馬区登録文化財

古文書紹介 栗原家文書「三宝寺池の宝捜し」に関わる文書

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊

<http://www.hblri.org>

◇98 2020.8 A4 6p

総会記念講演 部落差別とアイデンティティー被差別部落のアイデン

ティティについての研究課程 内田龍史さん

文責・鳥山 洋

『総会記念講演 被差別部落マイノリティのアイデンティティと社会関係』一概要(講演レジュメより)

情報 「全国部落調査」復刻版出版事件裁判

8/9 埼玉部落史研究会が発足一部落解放運動・同和教育運動・部落史研究の三つの「現場」をつなぎ、次世代への継承を実現していこう！

◆東村山ふるさと歴史館だより

〒189-0021東村山市諏訪町1-6-3 TEL042-396-3800 1997年創刊

◇66 2020.6 A4 4p

特集 国重要文化財「下宅部遺跡出土品」縄文人の技

水の恵み 下宅部遺跡／漆工関連遺物／木器・木製品

(千葉)

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇45 2020.3 B5 72p

阿波踊りの周辺(2)―津田の盆(ぼに)踊りの音楽・踊り 岩井正浩／川内由子
生涯学習の視点に立った民俗芸能の教材化について 石塚 真子

現代に生きるわらべうたの音楽性

―船橋市のわらべうた調査と分析から 小出 英樹

〈第33回大会報告

「民俗音楽の多様性―常民・在日朝鮮人・華僑華人」(2019 埼玉))

シンポジウム「民俗音楽の多様性―常民・在日朝鮮人・華僑華人」

コーディネーター 島添貴美子／

シンポジスト 有澤知乃・金理花・磯田三津子

華僑華人文化の実践における自他の境界意識

―中華街の芸能を事例として 有澤 知乃

異国に根差す「故郷」をうたう―在日朝鮮人コミュニティと学校歌 金 理花

在日朝鮮人のまつりと日本人

―日本人にとっての京都「東九条マダン」 磯田三津子

研究発表 要旨と質疑応答

阿波踊りの周辺(2)―津田の盆(ぼに)踊りの音楽・踊り

岩井正浩・川内由子／文責・北見真智子

兵庫県・但馬地方に伝わる〈さざんか踊り〉の系譜

大渡敏仁／文責・北見真智子

旋律分析の方法論(6)―島根県奥飯石神楽の神歌を事例として

上西律子／文責 桂博章・松本晴子

日本民謡のリズムの計量分析

河瀬彰宏／文責 桂博章・松本晴子

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011文京区千石2-42-7 田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円

1995年創刊 <http://www.yuubinshi.sakura.ne.jp>

◇50 2020.9 B5 120p 2000円

《25周年記念号》

巻頭論文 三等郵便局長の経済的地位

石井 寛治

エッセイ風調査レポート 砧郵便局の日付印を追って

赤須 秋玉

カバーが語る在中国アメリカ郵便史 18021-22年(1)	大場 光博
竜切手「銭四十八文」再考(1) 切手文献と九六勘定	藤本 栄助
近世イギリスの海外郵便の発展(1)	星名 定雄
「フランス横浜郵便局」研究史(1)	松本 純一

資料紹介

郵政博物館資料紹介 旧通信博物館と「日本郵便切手図鑑」	井上 卓朗
休刊紹介(24) 『太陽』臨時増刊：交通発達史	鈴木 克彦
開港地間郵便のエンタィア	佐々木義郎
岡山県約束郵便の契約を巡る資料	近友 勝彦
龍切手貼書留便カバー	手嶋 康
郵政博物館収蔵 凹版試刷の魅力	山川 一郎
資料翻刻 『正院本省郵便決議簿 第貳号』(1)	田原 啓祐

近刊紹介

片山七三雄 日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業1874-1915	近辻 喜一
郵政歴史文化研究会編 郵政博物館研究紀要	
公益財団法人通信文化協会	

◆洋学史研究 洋学史研究会

〒116-0014荒川区東日暮里3-12-17 松本英治方 TEL03-3891-6482
年5000円 1984年創刊

◇別冊 2020.6 A5 301p

《対外関係と医療》

序にかえて	片桐 一男
第1部 対外関係	
江戸幕府の貿易相手国理解	片桐 一男
フェートン号事件前後の長崎警備についての新見解	大井 昇
小宮山楓軒と和流砲術稽古	
―「楓軒先生火術稽古録」の紹介をかねて	小田倉仁志
シーボルトに提供した吉雄権之助の蘭語論文「日本の時間の数え方	
について」の一考察	石山 禎一
儒者塩谷宕陰の海防論	佐藤 隆一
小出使節団の日本語文書に見るロシアにおける交渉の経過について	
	塚越 俊志
第2部 医学・医療	
芝蘭堂における教育活動	松本 英治

藤林普山の「解屍篇」に関する講義	
―「普山先生 解屍篇講録 全」を通して	長谷川一夫
研究ノート 柴田収蔵と佐渡の医療	高橋 勇市
バルツ Balz, Eewin von の重篤患者診察と石黒忠愿の遠隔地医療指	
導―高橋泥舟書簡および高橋九郎宛石黒書簡にみる明治・大正期	
医療の一端	岩下 哲典
史料紹介 宮城県登米市有美堂文書の医学書について―解題と目録	沼倉 研史
研究会の思い出	
洋学史研究会の創立メンバーになれなかった話し	岩下 哲典
研究会の思い出	大井 昇
研究会の思い出	川畠 真人
I miss you	河元由美子
幾重にもつながる不思議な縁に導かれて	関 智子
洋学史研究会の思い出	田口 雅子
洋学史研究会とのご縁につきまして	和田 勤
片桐一男先生著作目録	
あとがき	片桐 一男
付録C D 『洋学史研究』総目次／洋学史研究会例会・大会一覧／『洋	
学史研究』第1～36号	

神奈川県

◆開国史研究 横須賀開国史研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内
Tel.046-822-8116 年1000円 2001年創刊

◇20 2020.3 A5 180p 800円

《創刊二十周年記念号》

口絵解説 軍鑑・八雲の浦賀ドック入渠風景文政五年浦賀来航の英船

サラセン号船図(中島清司画)

山本 詔一

第二十号の発刊にあたり

山本 詔一

シンポジウム 二十年を振り返る パネリスト 加藤祐三・平尾信子・齋藤純
／コーディネーター 山本詔一

総会記念講演

浦賀奉行所の明治維新一奉行・与力・同心たちのその後

齋藤 純

開国史研究講座

横須賀からみる海の幕末変革史
 軍港都市の財政問題―戦前期の横須賀財政
 浦賀のええじゃないか
 「浦賀へ異国船来たり嘶か町 ― (町々)」
 ―ペリー来航時の浦賀特製戯れ歌
 「古文書を読む会」の記録(3)
 横須賀開国史研究会 二十年の歩み
 「開国史研究」総目録(創刊号～第19号)
 「よこすか開国史かわら版」総目録(創刊号～第41号)

神谷 大介
 大豆生田稔
 山本 詔一
 齋藤 純
 有馬 正泰

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016鎌倉市長谷3-11-2 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100

1959年創刊

◇128・129 2020.9 A5 144p 2000円

口絵 鎌倉の至宝(28) 重要文化財 奪衣婆坐像

一軀 永正11年(1514) 像高92.0cm 円応寺蔵

「大倉幕府」考―位置の検証を中心に

鎌倉大慈寺の成立と展開

鎌倉後期～南北朝期 小河益戸氏の動向と系譜関係

南北朝期の河野通盛―「善応寺縁起」の紹介

南総の鑄銅像―法興寺と妙覚寺

芦屋法輪寺の経筒

長島家文書「御用金調達控帳」(上)

―幕末明治初期、武州金沢藩と鎌倉寺社祠堂金について

神奈川の窓(46)(47)―「地方史研究」から

石井 千絵
 真淵 和雄
 田井 秀
 中根 正人
 磯川いづみ
 高橋 智一
 河田登志夫

飯塚 玲子
 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊

◇76 2020.9 A4 2p

閉塞感のなかで識る

『史の会研究誌～振り返りつつ今を読む～』第6号 を手にして

史の会研究誌 西條節子の華麗な「終活」―学び・創り・住む―

を読んで

◇77 2020.10 A4 2p

「違和感」の先へ―大学の遠隔授業をめぐって

横松佐智子
 (曾原)
 (高階)

多和田真理子

シリーズ 私たちの「戦争体験」(1) 「生きて、日本へ帰る。」 山根 信子
「近代史資料倉庫」(仮称)見学会 (石崎)

◆日本の石仏 日本石仏協会(発売:青娥書房)

〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TEL0452-943-4409 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇171 2020.8 A5 64p 2000円

表紙の写真 檜原村の二十三夜塔 東京都西多摩郡檜原村数馬

写真と文・森満也

巻頭随想 自粛生活を有効に一令和二年夏の経験

坂口 和子

《特集 石仏探訪XⅧ》

利根川中流域の石工某工房と生首持型庚申塔

石田 年子

伊豆・大室山の八ヶ岳地藏

前田 重朗

山形県置賜地方の磨崖仏

加藤 和徳

埼玉県の廻国供養塔

南川 光一

疫病と下総の石仏

三明 弘

山形・千歳山の大通智勝如来と蔵王権現

田中 英雄

コラム

子抱え地藏尊

小川 洋子

座禅を組む修験者像

門間 勇

あ・ら・か・る・と一私の石仏案内

太宰治の不動石仏・津島佑子の丸石道祖神

神奈川県湯河原町・山梨県甲府市

岡田 均

青木磨崖梵字群 熊本県玉名市青木

中野 高通

誌上講座

石仏入門(25) 板碑・I

門間 勇

名号塔の知識(36)(前号続き) 熊野万歳峠の一遍名号

岡村 庄造

会員の広場

一代守本尊の記憶

田中 英雄

富山市東猪谷「男女宮」の双体道祖神

平井 一雄

コロナウイルスの中「六夜さま」を見に行く

すぎたみちゆき

奪衣婆のおっぱいは固かった

天女像の持物はザクロか柄香炉か

伊東 英明

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇9 2019 2020.6 A4 135p

特集 首都西郊の歴史的展開

小研究会「首都西郊研究会」の趣旨と経過

上山和雄／岡田直

近世後期の相模国中央部における文化ネットワーク

—『和田篤太郎日記』を中心として

馬場 弘臣

第一次世界大戦後の東京郊外水道—渋谷町水道を中心に

松本 洋幸

横浜と相模原の日本軍施設

羽田 博昭

首都圏における「西郊」セクターの位置づけ

—高度成長期を中心として国勢調査データによる考察から

岡田 直

書 評

高道昌史著『外濠の近代—水都東京の再評価』書評

落合 功

牛米努著『近代日本の課税と徴収』書評

小宮 一夫

石樽督和著『戦後東京と闇市課税と徴収—新宿・池袋・渋谷の形

成過程と都市組織』書評へのリプライのリプライ

和田 香成

首都圏形成史研究会活動報告

第108回例会 報告要旨

横浜市港北区日吉一帯における戦争遺跡をめぐる活動のあゆみと

現状

千葉 毅

東京における軍関係遺跡の現状

—史跡陸軍板橋火薬製造所の保存と整備

吉田 政博

明治前期のレンガ建築をどう活かすか

—市川国府台に遺る陸軍教導団武器庫の事例から

高木 彬夫

第109回例会 報告要旨

自治体史にみる首都圏の災害史

—「首都圏災害史年表」作成の中間報告を兼ねて

土田 宏成

利根川・渡良瀬川合流地域の自然災害

—旧伊勢御師岩井田家宛の書簡から

谷口裕信／濱千代早由美

近代土木史としての帝都復興事業

土井 祥子

第110回例会

第111回例会 報告要旨

川崎市域における地形形成の過程—古代から近代を概観して

菊地 悠介

20世紀前半の川崎市における住宅政策と都市行政の展開

佐々木恵海

第112回例会 報告要旨

茅ヶ崎市史編さん事業の過去（1・2次編さん事業）と現在「3次

編さん事業」

平山 孝通

綾瀬市史編集の現状と期待	井上 洋一
戸田市史の編さんと史料保存	佐藤 勝巳
鎌ヶ谷市史編さん事業終了後の現状と課題	立野 晃
「シンポジウム 自治体史編纂の現状と課題」について	小風 秀雅
研究者の視点から	季武 嘉也
討論要旨	手塚 雄太
参加記	伊藤 陽平

◆三浦一族研究 三浦一族研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

Tel.046-822-9478 年1000円 1997年創刊

http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture_info/miura_ichizoku/

◇24 2020.3 A5 142p 800円

口絵資料紹介・解説 「馬揃え絵巻」	長塚 孝
総会記念講演 中先代の乱と三浦氏	鈴木 由美
講演会 浄土真宗の全国展開は野比最宝寺からはじまった	西岡 芳文
学習講座 岡崎四郎と平塚の武士	栗山 雄揮
入門講座その1 なるほど!「鎌倉幕府」と「三浦一族」	三浦 芳春
入門講座その2 いざ、出陣!三浦一族ゆかりの城跡	山城ガールズむつみ
史跡めぐり 三浦一族の歴史と文化を訪ねて 平成30年度 第3回	
「大矢部・岩戸史跡巡り一人々の願いと祈り」/令和元年度 第1回	
「滑川沿いの史跡を訪ねる」、第2回「三浦一族の城を歩こう—怒田城&浦賀城へ」	剣持輝久・編
吾妻鏡を読む会 激動の鎌倉の日々を追体験!	伯山 敦仁
会津若松市歴史研究団体との交流 会津若松市の仲間をむかえて	
	仲野正美/田中健介/森敏晴/伊藤一美
会員コーナー 三浦氏終焉の城・三崎要害	アダチ・クリスティ
幹事のオススメ本・情報紹介コーナー	
細川重男著『執権 北条氏と鎌倉幕府』	伊藤 一美
若命又男著『北条政子』	森 敏晴
野口実著『源氏と坂東武者』	芳賀 久雄
『陸奥日記を読む』	岩間満美子
三浦一族に関する情報紹介 一、三浦一族「御城印」「御城印帳」	
紹介/二、「満昌寺 台風被害復旧プロジェクト」	伊藤 一美
三浦一族関係文献目録 (24)	中里行雄・編

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円 <http://www.mingu-gakkai.com>

◇160 2020.8 B5 80p

第42回日本民具学会大会報告

第42回日本民具学会大会公開講演・シンポジウム「山岳信仰と民具」

の趣旨 佐野 賢治

公開講演 飯豊山信仰と御行屋・登拝用具 佐野 賢治

報告1 富士講と奉納物—吉田口を中心に 堀内 真

報告2 立山信仰と版木—特に芦嶺寺の宿坊の事例を中心に 福江 充

報告3 考古資料から探る山岳信仰 時枝 務

報告4 山岳信仰と博物館そして民俗文化財 石垣 悟

パネルディスカッション

第43回日本民具学会大会報告

第43回日本民具学会大会公開講演・シンポジウム「民具の活用と地

域回想法」の趣旨 日本民具学会第43回大会実行委員会

基調講演

民具の活用と地域回想法—懐かしい話が紡ぐ地域の歴史 岩崎 竹彦

報告1 氷見市立博物館と地域回想法

—8年の歩み懐かしい話が紡ぐ地域の歴史 小谷 超

報告2 海の地域回想法—地域に根ざした回想法の試み 廣瀬 直樹

報告3 「昔の米作り想起」で地域回想法にアプローチ 高原 徹

報告4 認知症高齢者と地域回想法

—老人保健施設での民具を用いたグループ回想法の実際と効果 長谷川 健

絵図に描かれたU字型軸受ろくろは実在したか 小椋 裕樹

展示批評 平塚市博物館春期特別展「民具の物語」 波田 尚大

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇629 (53-5) 2020.8 A5 24p 350円

石打ち習俗の推移—西予市野村町中筋周辺の事例 遠部 慎

東日本の牛馬耕普及と朝鮮牛(3) 桂 眞幸

民具短信 婚礼の藁苞とその形 神 かほり

◇630 (53-6) 2020.9 A5 24p 350円

永井清繁氏のスケッチ画と民具の展示

- 一奈良県立民俗博物館の特別展から
餅の風流—加賀北部における紅白鏡餅飾りの実態 後編
書籍紹介
- 関東民具研究会編著『論集 地域研究の現場から—関東民具研究会
の足跡』 駒木 敦子
加藤和徳著『羽前の石燈籠研究—置賜の月夜燈』 佐野 賢治

◆悠 久 鶴岡八幡宮悠久事務局

- 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
- ◇161 2020.9 A5 96p 680円
- 《特集 『日本書紀』撰修千三百年》
- エッセイ 令和のジャポニズム 森谷 明子
『日本書紀』の撰修とその意図 荊木 美行
『古事記』『日本書紀』の成立にかんする再検討 笹川 尚紀
『日本書紀』の語法と文体 沖森 卓也
垂加神道と『日本書紀』 松本 丘
『日本書紀』の暦日について 細井 浩志
- 八幡宮紹介 八幡山八幡神社(広島県安芸郡坂町)
- 新刊紹介 『時代を動かした天皇の言葉』 高井和大著／『千家尊福と
出雲信仰』

新 潟 県

◆高志路 新潟県民俗学会

- 〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402
1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>
- ◇417 2020.8 A5 54p
- 江戸時代、越佐の子ども—誕生から成人まで 本田 雄二
放生会と水神様 下 大竹 信雄
蓮潟の民俗—大坂家私家版「蓮潟通信」より(1) 岩野 笙子
堆肥と肥穴 大楽 和正
- 小報告
- カサ 傘 天蓋、どうなる 金田 文男
カッパ除け地蔵 駒形 颯
- 表紙写真 村上七夕祭り獅子舞 撮影：金田文男

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内

TEL025-262-6289 1968年創刊

◇80 2020.7 A5 72p 1000円

追悼 藤木久志先生を悼む

阿部 洋輔

新発田藩領大庄屋制下における「帳書」と組の引継文書

安宅 俊介

古代国府の成立に関する覚書

相澤 央

書 評

小酒井大悟著『近世前期の土豪と地域社会』

水林 純

矢田俊文編『戦国期文書論』

石川 美咲

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊

◇192 2020.7 A5 102p 1300円

近世最初期 前田三代夫人の芦嶺嬭堂参詣の意義について

一布橋渡りと女人救済思想

米原 寛

仁和寺真光院尊海の神仏興行―「三禪定」を手がかりとして

久保 尚文

貞治の変と足利一門再編―桃井氏の将軍直臣化

松山 充宏

南砺市福光地域、刀根小村の社名と御神体

加藤 享子

解題と資料紹介 京都本草学の拠点「山本読書室」と越中の関わり

―『京の学塾 山本読書室の世界』で紹介する資料から

吉野 俊哉

最近の地方史情報

飛山健太郎

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円

1974年創刊

◇94 2020.9 A5 20p

越中八尾の都市民俗

小林 忠雄

越中国射水郡の避疫信仰

松山 充宏

富山県魚津市古鹿熊民俗抄(5)―食習を中心に

森 俊

南砺市福光地域のネッオクリ―昭和三十年代を中心として

加藤 享子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315 砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://www1.tst.ne.jp/odatakeo/>

◇61 2020.9 A4 8p

太田四つ角の道しるべの阿弥陀如来さま

尾田 武雄

自宅からいちばん近い石仏

松井 兵英

日蓮宗寺院の笠塔婆陽刻板碑

滝本やすし

近くの墓地にある二臂の千手観音墓標

平井 一雄

自宅近くの寺院の石仏

池田 紀子

川除地蔵(阿弥陀如来)報告書

尾田 武雄

福 井 県

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113 福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

◇310 (65-1) 2020.8 B5 94p

鹿谷の十八日講(谷御講)

佐野 光臣

笏谷石資料紹介 大日寺の笏谷石製十王信仰群像(青森県むつ市)

三井 紀生

坂井市の伝説と昔話(3)―語れるものに

枋谷 洋子

永平寺勅使門と大久保勘左衛門―大久保勘左衛門家史料の研究(2)

国京 克巳

史料紹介 『丸岡領寺社堂数書付帳』―紹介と翻刻

角 明浩

松平慶永、福沢諭吉著『通俗国権論』を読む

熊澤恵里子

福井県における郷土史研究の動向―令和元年度分

本会事務局・福井県立図書館郷土資料グループ編(事務局・前田眞佐子)

山 梨 県

◆交い かいじあむ通信 山梨県立博物館

〒406-0801 笛吹市御坂町成田1501-1 TEL055-261-2631

<http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

◇51 2020.1 A5 8p

表紙 葛飾北斎「風のいたずら」(部分)

「雀踊り」『北斎漫画』浦上コレクション

これが北斎漫画だ! 山梨県立博物館開館15周年・テレビ山梨開局50

周年・葛飾北斎生誕260周年記念特別展 浦上コレクション「北斎

漫画「驚異の眼・驚異の筆」

学芸員おすすめの一品 収蔵資料の見どころをご紹介します。 生

誕200年 若尾逸平ゆかりの品／甲斐源氏の祖・新羅三郎の活躍

後三年合戦絵巻 寛政12年(1800) 公益財団法人山梨鈴木助成事業

財団寄贈

山梨県立博物館の旬な話題をお届け！ かいじあむトピックス 新バ

スポーツのデザインに「富嶽三十六景」

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇7 2020.6 B5 22p

受入れ地域側の学童疎開資料の所在

一昭和と平成の大合併後の状況下で

蒲原まゆみ

寛文の上谷村検地帳にみる水かけ麦

金田準之助

長野県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html>

◇107 2020.8 A4 4p

史料紹介 天保11年の大平街道争論

羽田 真也

史料紹介 転用された川路の全村地図

福村 任生

再開しました！ リレーミニエッセイ(18)

人口減少時代の集落景観研究に向けて

樋口 貴彦

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1106 (68-7) 2020.7 A5 50p 550円

《考古学特集》

口絵 松川町馬坂、竹越遺跡の大型礎石遺構

酒井 幸則

信濃の富豪層

桐原 健

高校生の考古学研究

市澤 英利

国史跡恒川官衙遺跡における近年の発掘調査の状況

坂井 勇雄

ヤマト王権と伊那谷

小林 正春

平成31・令和元年度伊那考古学年報

小林 正春

◇1107 (68-8) 2020.8 A5 50p 550円

- 口絵 戦争遺跡 墨を塗られた建物 原田 望
 国鉄「飯田線」礎を築いた人々の中から
 伊藤太八、伊原五郎兵衛そして川村兼人 大原千和喜
 平和と悲劇を語る日米親善大使・青い目の人形 知久 一彦
 伊那探鳥会の思い出 関島博人／原田望
 丸山小学校沿革史からみた小学校時代(1) 入学から終戦まで 原田 望
 戦中派・語り残しのことごと一学童疎開 吉澤 健
 大鹿村へ疎開した頃の思い出 吉川 進久
 クララで入浴した話 伊藤 尚和
 下伊那日録 2014(平成26年)1月～5月 寺田 一雄
 各町村史学会の動き 下條史学会の総会／毛賀史学会の総会

◇1108 (68-9) 2020.9 A5 50p 550円

- 口絵 まぼろしの宮之本神社(天竜村坂部) 橋都 正
 伊那谷研究団体協議会 第22回シンポジウム研究発表 伊那谷・次世
 代に伝えたい残したいもの その3一つなが・使う・創る
 「文化財の保護保全を考える会」から見える継承の課題 伊坪 達郎
 公益財団法人 南信州地域資料センター10年のあゆみ
 一収集、保存、分類、活用 吉澤 健
 動物園と生物多様性保全 大崎 康平
 「飯田線史」に燦と輝く人「川村カネト」—アイヌウタリに生きた人々
 大原千和喜
 下伊那日録 2015(平成27年)5月～10月 寺田 一雄

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 Tel0265-73-5538 年5000円

◇761 (64-6) 2020.6 A5 40p 500円

《自然特集》

- 伊那谷のキツツキ類—民俗の窓を通して(38) 吉田 保晴
 上伊那の豊かな自然をいつまでも—ミヤマシジミと共に 岡村 裕
 戸台の化石(2)—戸台のアンモナイトは多属種(1) 北村 健治
 上伊那にある、奥三河石工が彫った石仏・石塔について(2)
 菩薩の石仏 伊折 俊夫
 島木赤彦・芦部猪之吉と飯島 桃澤 匡行
 図説・上伊那の民俗(36) ワサビ田(南箕輪村塩ノ井) 三石 稔
 徒然さんば(10) 日蓮宗感應山深妙寺 伊那市西春近小出 絵と文・吉田勝美

◇762 (64-7) 2020.7 A5 40p 500円

三峰川通りにおける安政国役御普請(1)

春日賢太郎

藤村の「水車塚」碑 建立の経緯を探る

一碑は藤村の蜂谷家への感謝であり蜂谷義一の頌徳碑でもある

前沢 明夫

古文書の窓(153) 高遠藩の御林 切り株に極印

三浦 孝美

図説・上伊那の民俗(37) 墓掃除(飯島町)

三石 稔

徒然さんば(12) 津島神社 宮田村

絵と文・吉田勝美

書籍紹介 『高遠石工の巡礼ガイド 上伊那南部編』

宮下 明子

◇763 (64-8) 2020.8 A5 40p 500円

《終戦特集》

「伊号第366潜水艦」と人間魚雷「回天」特攻隊

一大久保力男さんの体験から

矢澤 静二

伊那飛行場で赤とんぼの整備兵として特攻隊も送り出した私が見たも

の・体験したこと

城倉 肇

悲しき満洲建設勤労奉仕隊

福澤 浩之

登戸研究所調査研究会 2年間の現地調査で浮かび上がってきた課題

一“歴史の教訓を次の世代に 資料を地域の財産に” 登戸研究所調

査研究会の取り組み報告(3)

松久 芳樹

戸台の化石(2)一戸台のアンモナイトは多属種(2)

北村 健治

図説・上伊那の民俗(38) ヨイソレ(箕輪町南小河内)

三石 稔

徒然さんば(13) 日蓮宗妙法山 蓮華寺 伊那市高遠町

絵と文・吉田勝美

◇764 (64-9) 2020.9 A5 40p 500円

《終戦特集(2)・民俗特集》

戦時下の「組合記録」—中川村下平耕地南組合の相互扶助活動

伊藤 修

引き揚げ者の救護・案内所について

一上伊那連合青年団の辰野駅前での活動をととして

竹淵 修二

秋葉三尺坊 深澤鎮火社 例大祭—箕輪町松島の秋祭り

中崎 隆生

手良郷土館と明治時代の冠婚葬祭・年中行事(1)

宮原 達明

第7号「藤村の『水車塚』碑建立の経緯を探る」への論評

古文書の窓(154) 郷蔵へ米備え置き証文

清水 満

図説・上伊那の民俗(39) さんよりこより(伊那市美簗川手)

三石 稔

徒然さんば(14) 曹洞宗青雲山 澄心寺 箕輪町

絵と文・吉田勝美

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇847 (73-8) 2020.8 A5 82p 1150円

下伊那のスペイン・インフルエンザ

—『南信』の記事からみるその流行

前澤 健

地域社会における「オチャ」の機能

倉石 忠彦

多胡碑に刻まれた「穂積」の文字一音の通用と上野国分寺文字瓦

松田 猛

戦国期東海・甲信地方における臨済宗妙心寺派の地方展開

岩永 紘和

総会報告 二〇二〇(令和2年)年度定期総会

事業委員会

信毎賞贈呈式における挨拶

小松 芳郎

◇848 (73-9) 2020.9 A5 80p 1150円

松本市内の天白信仰—天白稻荷を事例に

市東 真一

上田・東御・小県地域における住民要望の公・文書館作り運動

—地域民主主義と文化を支え・育み、発展させる砦作り

小平 千文

戦国期山野相論の中人制と大名法廷判例の実態

伊原今朝男

受贈図書紹介 『安曇平のお船祭り調査報告書』安曇野市教育委員会

／『松本の歴史を学ぶ—文書館子ども講座—』松本市文書館／『宮下

本 熊谷家伝記』吉田ゆり子編／『龍雲山 廣澤寺誌』廣澤寺誌編

集委員会

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 Tel.026-224-2673 年4000円 1964年創刊

<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇316 2020.8 A5 72p 800円

口絵・表紙解説 戦国時代に戸隠三院が避難していた遺跡(小川村)

(2020年5月撮影)／表紙 戸隠中院跡を伝える三本杉(小川村小根

山)／裏表紙 小川村の多様な史跡・文化財

父が記録した赤松小三郎—『雑帖』に見る新事実

矢羽 勝幸

「一遍聖絵」に描かれた信州

小松 良則

木曾義昌と森長可

志村 平治

共和国民学校に駐屯した「水戸の工兵隊」のスケッチ

土屋 光男

小川村の多様な史跡・文化財

小林 一郎

郷土史の視界(16)

『聖徳太子伝』にも登場する信州井上の黒駒

小林 一郎

長野と全国各地の繋がり(13) 延期になった善光寺の御開帳と、開催

された昼飯善光寺の御開帳

小林 玲子

生きた町の歴史を知ろう(20) 千曲川沿いに築かれた城と都市の発展

小林竜太郎

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇279 2020.9 B5 10p

佐久市跡部の子供獅子舞行事 田澤 直人

鈴木岩弓「平安時代の『日本民俗学』」(『日本民俗学』300 2019年11月)を読む 福澤 昭司

葉書でつぶやくコーナー

再建道祖神碑石―『長野県道祖神碑一覧』を読む(7) 倉石 忠彦

岐 阜 県

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

◇106 2020.9 A4 8p

表紙 明智光秀画像(部分) 1幅 安土桃山～江戸時代前期
本徳寺蔵(岸和田市)

NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」

加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 素描・下絵・本画」

加藤栄三・東一記念美術館「はっ・とび2 伊藤彰耳とその仲間たち」

戦時下の接客向上運動 昭和17年ありがとう運動の展開(後篇) 社本沙也香

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇134 2020.9 B5 28p

会長退任のことば 丸山幸太郎

岐阜県郷土研究のこれから 早川 万年

丸山幸太郎先生講演会記録

テーマ「岐阜県における地芝居の興隆と保存」

美濃国山県郡高富町天王町「山口彌重文書」資料その一 松尾 隆

本城山城城守斎藤八郎左衛門入道宗雄について(2) 古田 憲司

「民話の里」神戸町 児玉 剛

白山開山千三百年記念祭のその後 曾我 孝司

「起し太鼓」「古河祭屋台」の拠点 二十八年ぶりにリニューアル 茂住 修史
郷土関係新刊書目録(119)
郷土関係逐次刊行物文献目録(117)

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇503 2020.8 A4 4p

2020年7月18日幹事会報告

図書紹介 今井昭彦氏『近代群馬と戦没者慰霊』	村瀬 隆彦
歴史随想 芥川龍之介と戦争	小池 善之
田村貞雄先生ご逝去	小池 善之

◇504 2020.9 A4 4p

関東大震災・朝鮮人虐殺・治安維持令、そして高柳覺太郎 会員の著作紹介と若干の感想	小池 善之
---	-------

東京大学教養学部歴史部会編『東大連続講義 歴史学の思考法』 清水 実

◇505 2020.10 A4 4p

総会記念講演会レジュメ 激変する日米安保の下での憲法改正論議

―自衛隊の指揮権を中心に 古関 彰一

新刊紹介 『クレットマン日記』 松崎碩子訳『クレットマン日記一若
きフランス仕官の見た明治初年の日本』 樋口 雄彦

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇232 2020.9 B5 4p

6月例会報告要旨 関東代官大河内秀綱の基礎的研究	小林輝久彦
7月例会報告要旨 朝鮮通信使の通行と三島宿	土屋比都司

◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町10-25 中央ビル90 2階 TEL054-271-9004
<http://www.shizuoka-heiwa.jp>

◇66 2020.7 A4 2p

お知らせ～戦後75年事業「今、あなたに伝えたい」の変更について／

戦後75年 今、あなたに伝えたい 戦後75年特別講演会 講師：吉

田裕さん
静岡平和資料センター 企画コーナー展示「少女少女と戦争」

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇176 2020.7 A4 4p

調査報告 鰹節から KATSUOBUSHI へ
シリーズ食(40) 盆供の小豆について
令和2年度 総会の書面決議について

川口 円子
松田香代子

◆赫夜ーカグヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 Tel0545-21-3380

<http://museum.city.fuji.shizuoka.jp>

◇76 2020.8 A4 4p

富士参詣曼荼羅の世界ー松栄寺本を中心に
春のテーマ展「揺する！富士市のお天王さん」
夏のテーマ展「富士山の女神 かぐや姫」
富士山かぐや姫ミュージアム 公式 YouTube チャンネル OPEN
展示室2 富士山の玉手箱「岡田紅陽富士山写真展」
伝法古墳群出土資料が全国へ

高林 晶子
秋山 裕貴
秋山 裕貴
高林 晶子
成瀬 陽介

愛 知 県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 Tel052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇267 2020.8 A5 25p

奉納和歌に見る熱田信仰(5)一常しへに豊葦原の国守る
創祀千九百年記念造営事業の回顧(24)

辻村 全弘
小久保雅広

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 Tel0563-56-2459 2004年創刊

<http://iwasebunko.jp>

◇65 2020.3 A4 4p

岩瀬文庫企画展示「ひいなあそび」／次回予告 岩瀬文庫企画展「好古ー日本考古学のあけぼのー」

めぐってみよう

西尾の展示施設 西尾市資料館、尾崎士郎祈念館、一色学びの館
蔵書紹介 『雛百種』(子-335) 3冊 西沢笛畝編 大正4年(1915)刊
◇66 2020.7 A4 4p

岩瀬文庫企画展「好古—日本考古学のあけぼの—」／予告 特別展

『新編西尾市史 資料編2 古代・中世』刊行記念 吉良氏800年祭
「西尾の古代・中世—吉良荘と吉良氏の光芒—」

『新編西尾市史 資料編2 古代・中世』が好評販売中／西尾城二之
丸丑寅櫓及び土塀完成

蔵書紹介 表紙の写真『光秀秀吉発句』(87-35) 1冊 江戸時代中期写

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円

<http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇609 (60-5) 2020.9 B5 8p 600円

表紙写真のことば 真栄里大綱引きのガーエ・巻き棒

沖縄県糸満市真栄里 旧8月15日後の日曜日

東京・日原の獅子舞

山車祭の囃子を追って—一尾張地方を中心に

新刊紹介 蒲池勢至著『探訪 真宗民俗—儀礼の伝承と現代社会』

坂本 要

石川 博司

安田実佐子

三 重 県

◆皇學館大学研究開発推進センター年報

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊

<http://www.kogakkan-u.ac.jp>

◇6 2020.1 A4 125p *事業報告のみ

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<http://www.biwako-arts.or.jp>

◇173 (44-4) 2020.10 B5 88p 600円

《特集 琵琶湖の深呼吸—育む命と温暖化》

プロローグ

ぼくらが生きる湖 文・漁師 中村清作／写真・オザキマサキ
 「琵琶湖の宝石」ピワマスーその一生 写真・廣田利之
 グラフで読む「温暖化と琵琶湖」 編集室
 全循環(深呼吸)の秘密 2段階でリセット完成 熊谷 道夫
 ピワマスを育む琵琶湖の深呼吸 桑原 雅之
 琵琶湖の漁具 その知恵を知る
 釜／竹瓮／網釜／叉手網／タマ／小糸網(刺網)／スキバリ 長谷川嘉和
 未来へつなぐ「湖の400万年」琵琶湖博物館、グランドオープン 田中 順子
 インタビュー 湖と生きる 身の回りのおもしろさ、立ち止まって考
 える 琵琶湖博物館館長 高橋啓一さん 文・三宅貴江／写真・中村憲一
 歴史の玉手箱(17) 滋賀県と外国人 開明派・県令が「欧学校」、女
 子教育に力 技術・福祉…デ・レーケやヴォーリズ活躍 杉原 攸三
 「図書館日本一」へ施設、資料費、職員 跳び続けた高いハードル 梅澤 幸平
 海から京へ 古の大動脈 報告・塩津港遺跡(5)
 謎のキザギザ棒はカウンター？ 横田 洋三
 カラーグラビア
 海から京へ古の大動脈 報告・塩津港遺跡「呪符」 横田 洋三
 祭の美 祈りのかたち(7) 草木祭の草木団子(草津市下寺間地)
 初穂の恵みと喜び、つやつやと 写真・文 川島朱実
 伝えたい湖北の味 湖北の味・知恵・心、伝えたい
 肥田文子さん、「伝統食・地産食」決定版を出版
 文・三宅貴江／写真・中村憲一
 近江の懐(ふところ)(15) 真野と仰木 加藤賢治／石川亮
 万葉の旅人(6) 将軍も座した浮島、水茎の晩秋 文と曲・林博通／画・鈴木靖将
 ぶらり近江はっけん伝(14) 甲良町 岸野 洋

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇130 2020.9 A4 6p

特別展 幻の名窯 湖東焼一彦根藩窯の盛衰

湖東焼 色絵華鬘図平鉢 個人蔵

展示案内 2020年9月～12月 特別展 幻の名窯 湖東焼一彦根藩窯

の盛衰、企画展 彦根藩井伊家と能楽、テーマ展 戦に備える一彦

根藩の武具管理

コラム 復元刀剣 太刀(国宗写)公開中！

研究余録 金亀玉鶴 道具類にみる彦根藩井伊家の能道具
足かけ5年 井伊家近代文書調査大詰め

茨木 恵美

京 都 府

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34 TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇139 2020.7 B5 246p

黄檗文化とその現代性

林 観潮

江戸時代の長崎来舶画人について

錦織 亮介

陳賢『観音図冊』を読む—隠元・陳賢と観音像をめぐる—

鈴木 洋保

什宝となった粉本 乾坤山徳蔵寺所蔵・狩野探幽原画「釈迦・阿難・

迦葉尊者像」について—萬福寺所蔵「釈迦三尊像」「十六羅漢図」

との比較および寛永寺の絵画鑑定の考察を踏まえて

藤元 裕二

四代藩主・伊達綱村と黄檗宗を繋ぐ人々

尾暮まゆみ

伊予と阿波の黄檗廃絶寺院志

石渡 吉彦

肥前鹿島藩主鍋島家の墓碑考察

秋元 茂陽

明・紫柏大師所説「水多水多」考

—源信・親鸞・白隠の用例をも視野に入れつつ—

野川 博之

東林派下梅嶺禅師湖東三ヶ道場歴代表と容膝軒義祐老行業記並びに東

林派下寺院表

田中 智誠

黄檗禅の打七と臘八摂心

小川 太龍

隠元の悟境表現と林材宗風—「打筋斗」と「獅子返擲」を中心に

賈 光佐

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇230 2020.7 B5 42p 1800円

大津絵と芸能民の位相—「鬼の念仏」・「藤娘」の画題を中心に

鈴木 堅弘

資料紹介 「〔笑福亭木鶴名祝儀摺物〕」について

荻田 清

書評 大橋正叔著『近松浄瑠璃の成立』

山田 和人

紹介

国記録選択無形民俗文化財調査報告書『静岡浅間神社廿日会祭の稚
児舞』

(K・Y)

宮本圭造編『近世諸藩能役者由緒書集成(上)』

(五左衛門)

郡司正勝先生二十三回忌追善・郡司正勝先生研究会編『歌舞伎の出

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇906 (90-6) 2020.7 A5 34p 916円

浜松市・横山八幡神社の懸仏群について 大塚 幹也

聚楽第余聞(2) 聚楽第外郭と千利休聚楽屋敷 加藤 繁生

第1065回例会 南山城・木津川流域の文化財を訪ねて 松永 修輔

第49回「石造美術勉強会」報告 北河内に永仁年号の石塔を訪ねる 野崎小百合

◇907 (90-7) 2020.8 A5 34p 916円

聚楽第余聞(3) 聚楽第と二条城の縄張りについての試論 加藤 繁生

画論研究(2) 土佐光起『本朝画法大伝』偽撰考補説(上) 寺本 健三

第1066回例会 大分県の文化財を訪ねる 野崎小百合

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431

年3000円 2002年創刊 <http://kyotochimeiwix.com/kyotochimeiwix/>

◇71 2020.9 A4 8p

第55回地名フォーラム開催について 講演「宇治・南山城の文学地名
 一山吹の瀬・相楽山・宇治山一」小西亘氏(京都府立南陽高校教諭)、
 研究発表「宇治橋三の間と橋姫」小寺慶昭氏(本会会長)／小西亘氏
 講演要旨・小寺慶昭氏講演要旨

書 評

『近江の地名 その由来と変遷』、『京都・滋賀 地名ものがたり』

『近江の地名 その由来と変遷』(サンライズ出版) 小椋 光

「近江商人」について(1) 岩田 貢

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊

<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

◇81 (28-1) 2020.8 A4 23p

展示報告

常設展

特別展 KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2019アソシエテッ

ド・プログラム 2019年春季特別展「よみがえる沖縄1935」／世

界報道写真展2019—WORLD PRESS PHOTO 19／2019年度秋季
 特別展「上野誠版画展—『原爆の長崎』への道程」／追悼展示「井
 戸も掘る医者—ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画」
 ミニ企画展示 122回「東日本大震災の記憶—「3.11」の“これまで”
 と“これから”」、123回「堂畝紘子写真展 生きて、繋いで—被爆
 三世の家族写真」、124回「キューバと日本の絆をさがして」、125
 回「ハンパク1969—反戦のための万国博」、126回「熟覧Ⅳ—メデ
 ィア資料室への誘い」、127回「第13回立命館附属校平和教育実践
 展示 私たちが目指す世界：立命館のSDGs」、128回「パネル・
 写真展 わたしをここからだして—オリンピックの「治安対策」
 の名の下に入管収容所で苦しむ外国人の現在(いま)」、129回「こ
 んなはずじゃなかった」

アウトリーチ 茨木市非核平和展「儀間比呂志版画展」、図書館
 展示企画への共催・協力「わたしたちも撮りたい！—ネワールの
 ひとびとがみる生活文化」の写真展、「1969年の立命館—末川文
 庫に見る50年前の学園と学制生活」

ミニ企画展示 第134回「昭和初期の和服柄に宿る戦争」／WEB展示
 遊心雑記 ムクゲの木、折られる

安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 Tel0724-28-0204
 年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇392 2020.8 B5 12p

「和泉国郡内畑村繪圖」を読む—水利環境を中心に(1)	池田 雅治
室町幕府中枢の動きと和泉(21) 九 信長・秀吉の登場(続)	井田 寿邦
史料 佐野村の寺社(5) 藤田家文書「佐野村寺社帳」(5)	

◇393 2020.9 B5 12p

現代語訳「食家と佐野と海」(1) 回想録／食家の祖／食の姓の起源	二山 和美
土地台帳にみる土地利用(9) 吉見／嘉祥寺	井田 寿邦
明治元年創業 熊文商店	北山 理
史料 佐野村の寺社(6) 藤田家文書「佐野村寺社帳」(6)	

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 Tel06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇429 (37-7) 2020.7 B5 4p

神のおやしらのこと(51) 広田神社

和久 敦也

◇430 (37-8) 2020.8 B5 8p

神のおやしらのこと(52) 今宮戎神社(1)

和久 敦也

令和2年7月例会報告(第401回)「最近の話題から考える一令和の元

号と吉備真備の書『日本』」大阪歴史懇談会会長 片倉穰氏 (報告・寺井)

会員の書評 『白山平泉寺』よみがえる宗教都市(勝山市編 吉川弘

文館)

評者・加藤照也

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇83 2020.8 A5 90p

堺鉄砲鍛冶と大塩事件—『咬菜秘記』を読み直す

藪田 貫

兆民哲学における陽明学的位相

森田 康夫

大塩と私(22) 奈良の歴史学者・谷山正道氏に聞く

聞き手 藪田貫・内田正雄・福島孝夫

資料翻刻 「大塩平八郎一軒科書 写」(2)

大塩の乱関係資料を読む部会

大塩ゆかりの地を訪ねて(10) 「城下町古河と鷹見泉石」

松浦 信輝

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇849 2020.8 A4 8p 300円

仏堂建築(金堂・本堂)の構成と意匠—邸宅風本堂の仏堂化

櫻井 敏雄

時代祭—京都千年の絵巻、百年の歴史

猪熊 兼勝

◇850 2020.9 A4 10p 300円

奈良の大仏と京の大仏

神田 雅章

東大寺山古墳と周辺の遺跡—天理市櫟本の遺跡を訪ねて

松田 真一

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

<http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

◇100 2020.8 A5 192p 1500円

《第100号記念号》

巻頭言 『古代史の海』100号記念

上遠野浩一

2019年・古代史総括	森岡 秀人
特集 『日本書紀』撰進1300年記念～『日本書紀』を考える	
『日本書紀』と『日本紀』の関係について―同一史書説の再検討	塚口 義信
日本における仏教伝来の虚構と実像	
―近世、近代の『日本書紀』の解釈を通じて	有働 智煥
考古資料と『日本書紀』(上)	
―古代氏族ヲハリ(尾張)氏とムゲツ(身毛津)氏で考える	尾関 章
『日本書紀』の暦について(1)―神武即位辛酉革命説を見直す	上遠野浩一
『日本書紀』人代巻の神登場記事が示す国家神の変遷	河越 尚司
記紀における大和国造系譜の検討	寺西 貞弘
小休止・会員広場	
アンデス通信(53) 中米グアテマラのカミナルフユ遺跡公園とグア	
テマラ考古民族学博物館訪問	市木 尚利
へそ曲がり「ワンチーム」考	山下 輝幸
新刊紹介 水谷千秋著『日本古代の思想と天皇』	塚口 義信
白河上皇高野参詣の「火打崎」行宮の所在地	平林 章仁
中国南北朝における施無畏印与願印の変遷についての一考察	山下 輝幸
『古代史の海』81～100号総目次	編集部

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇620 2020.8 B5 26p

7月・第681回例会の報告(岸和田城・岸和田古城)

担当幹事：栢木隆・平川大輔	報告・栢木 隆
例会報告・その2 岸和田古城	報告・平川大輔
丹後守護一色氏の史跡を訪ねて	下岡 力
5月例会の下見報告(野崎城・飯盛城)	水品 弘樹
竹生島を訪ねて	藤岡 秀典

別冊 第682回例会 令和2年(2020)8月2日

播磨 明石城を訪ねて 担当幹事：川端義憲・水品弘樹

◇621 2020.9 B5 28p

8月・第682回例会の報告(明石城) 担当幹事：川端義憲・水品弘樹

	報告者・水品弘樹
越前紀行(1)	藤岡 秀典
丹後守護一色氏の史跡を訪ねて(中編)	下岡 力

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇391 2020.8 B5 8p

二〇一九年・古代史発掘 上一旧石器・縄文・弥生

森岡 秀人

◇392 2020.9 B5 24p

二〇一九年・古代史発掘 下一古墳・古代・その他

森岡 秀人

神社のトコロテン遺産

瀬藤 禎祥

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇281 2020.08 A5 119p 900円

九条家領和泉国日根荘と醍醐源氏

永松 圭子

政党内閣期末から挙国一致内閣期における政党をめぐる言説と政治

—山本条太郎の政治構想を事例に

茶谷 翔

わたしたちの文化財 近江八幡市旧中川煉瓦製造所のホフマン輪窯

藤原 学

地域の歴史を守り伝える 喜連村史の会の取り組み概要

白川 俊義

書 評

大橋信弥著『古代の地域支配と渡来人』

溝口 優樹

谷口雄太著『中世足利氏の血統と権威』

石原比伊呂

井上敬介著『戦前期北海道政党史研究 北海道拓殖政策を中心に』米山 忠寛

報告 例会報告—煉瓦研究の東西 2019年12月例会

大阪歴史学会考古部会

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502東大阪市小若江3-4-1 TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇31 2019.10 A4 314p

表紙・口絵写真 住吉大社の御田植神事

写真 渡辺良正／写真・解説 小野雄祐

《近畿の民俗・文化》

和歌山県高野町の盆棚

藤井 弘章

やまと・まほろば・寛政行一鬼瓦の銘文からたどる近世瓦屋の成立・

展開から終焉まで—第一部

大脇 潔

ラジオ塔についての覚書

人見佐知子

和歌山県における櫨の民俗—紀美野町の栽培・採取を中心に 藤井 弘章
抹消天然記念物「葡萄櫨の原木」調査報告

三木明音／横田沙羽子／中村巴菜／鞍雄介／藤井弘章
日本庭園の萌芽をみる—考古学からみた飛鳥・奈良時代庭園の変遷 網 伸也
越前国一乗谷周辺での山林用益

—中世城郭廃絶後の土地利用をめぐる 新谷 和之
書評と紹介

菊池勇夫著『飢えと食の日本史』 胡桃沢勘司
筒江薫編『民俗学者・野本寛一 まなびの旅』 辻 貴志
付録 民俗学研究所第三〇回公開講演会・文芸学部設立三〇周年記念
事業講演会 野本寛一「近畿大学と民俗学」(講演内容) 文責・藤井弘章

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 TEL072-331-6679

年3000円 1978年創刊

◇79 2020.8 B5 50p

近世大坂大工宮屋の建築 前篇——七世紀大坂大工鳥井氏の建築 東野 良平
近世の山岳宗教と銭貨—埼玉県秩父市武甲山頂遺跡の場合 時枝 務
平戸のキリシタン墓地 萩原博文／塩塚浩一
対馬の石造塔について 多田 準二

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内

TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊

<http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇34 2020.8 B5 79p 1300円

表紙のことば「太陽の塔 四つの顔」表紙写真：井川光正氏 井川 光正
玉山金山(14) 莊厳寺ものがたり 松坂 定徳
石見吉川家十一代目 吉川和泉守経實(3) 田村 紘一
住吉の松と高砂の松 中澤 祐一
「賊禁秘誠談」を読んで 磯崎 素子
西国の大守護大名「大内氏」の治績を検証 小林 司
礼と女帝評価論(3) 岩谷 隆行
断崖絶壁の街、ロンダ 夏原 君代
カラコルムを首都とするチンギス・カンの命令の真相を探る 松田 孝一
猪名川水害記念碑 室田 卓雄

京阪グラウンド

和久 敦也

思い出の記(4)

片倉 穰

コラム 独り言つ(1) 新型コロナウイルス／縄文の女神たち

井川 光正

兵庫県

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

◇73 2020.8 B5 8p

新型コロナ自粛期間中に有意義に過ごせていますか？

馬原 浩一

家系研究協議会 令和2年度総会の集計結果

珍名さんいらっしゃい 番外編(4)

馬原 浩一

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇629 2020.8 B5 8p

西宮宿あれこれ(2) 日本地図の完成ー伊能忠敬／大塩平八郎の登場 山下 忠男
えびすかき道中記(5)

安曇野磯良に心を向けて 疫病退散の人形芝居

武地 秀実

「西宮大神本紀絵巻」復元裏話(1)

土井久美子

会員活動報告 疫病調伏感謝の三輪山讃歌・大神神社献詠

中村宏／山本純子

◇630 2020.9 B5 8p

鉄砲伝来と種子島(1)

奥 喜代孝

西宮市大谷記念美術館ークールベ「眠る草刈り女」

森田 正樹

会員活動報告 住吉大社新調太鼓台御披露目式出席&献詠

中村宏／山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇341 (59-4) 2020.8 A5 57p 600円

《特集 知られざる六甲山の開発史》

六甲山の天然水

中村 三佳

六甲山郵便局の100年

前田 康男

100年前の六甲山での天幕生活ーキャンピングの始まりと展開

森地 一夫

六甲山上のヴォーリズ建築の魅力―関学・小寺敬一が果たした役割 山崎富美子
 宮崎修二郎翁と野田興風図書館 今村 欣史
 「火垂るの墓」記念碑 除幕式次第
 ー委員会発足二年経て記念碑建立 二宮 一郎
 新聞新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年9月3日～5日)
 大国正美／有吉康徳

奈良県

◆史影いかるが 史影いかるが

〒636-0113奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺南2-8-16 片岡宏子方

Tel0745-74-0429 2020年創刊

◇1 2020.1 A5 138p

『史影 いかるが』創刊応援の詞

志水 輝男

『史影 いかるが』構想

河野 昭昌

飛鳥・奈良期の法隆寺Ⅰ 法隆寺発給現存最古の文書

ー天平十九年「法隆寺三綱返抄」

河野 昭昌

法隆寺問寺の僧伝Ⅰ 平安時代 学僧覚印―法相宗原典へ求道

河野 昭昌

法隆寺と寺辺との共存Ⅰ 平安期 忘れられた氏族丈部の諸動向

ー「三浦家文書」三点を核に

河野 昭昌

興福寺との「本末」関係の展開Ⅰ 鎌倉後期 法隆寺別当・小別当拝

堂を探る―「寺務拝堂旧記」紹介を兼ねて

河野昭昌／田中順一

法隆寺栴の諸相Ⅰ 康正二年銘「観音講舩」(二種)とその周辺

河野 昭昌

斑鳩太子信仰の変遷Ⅰ 江戸後期 斑鳩成福寺僧の太子信仰と寺辺

ー新出「中野家文書」(文政六年)の紹介と研究

河野 昭昌

和歌山県

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0004田辺市上万呂549-3 浅里耕一郎方 Tel0739-25-3794

年2000円 1985年創刊

◇60 2020.8 B5 42p

表紙 潮見峠から見た田辺湾(西国三十三名所図会より)

(あおい書店提供)

《60号記念特集 紀南の海岸と地名》

美浜町三尾の日の岬という地名について

玉置 芳男

田辺市芳養町に伝わる地名について

宮本 恵司

田辺湾の地名・あれこれ(1)

浅里耕一郎

周参見の沖磯

木村 甫

聞き書き 田辺湾の漁師たち 鯉のはね釣り／イカ釣り漁夫の話

吹揚 克之

戎漁協のサンマ漁船遭難

吹揚 克之

御坊小学校の郷土地理教育

田所 顕平

田辺・右会津川支流、足谷川の甌穴

吹揚 克之

防災から減災へ

田中 弘倫

「紀南・地名と風土研究会会報」目録（創刊号～59号）

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368

〒260-0801千葉市中央区仁戸名町480-186 林雅彦方 TEL043-263-4127

年3000円 2010年創刊

◇8 2020.7 A5 112p

西行和歌の熊野

西澤 美仁

和歌を社に書き付くということー西行の「ふるまい」

中西 満義

新しい西行伝説の始まりー子規の俳句・和歌革新から現代へ

半田 美永

園城寺・熊野・修験道

長谷川賢二

三井寺観音堂と那智山青岸渡寺の本尊をめぐって

一三十三観音札所と如意輪観音像

石川 知彦

訃報 友よ、静かに眠れー平久江剛志氏追悼

金山 秋男

岡 山 県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円

2002年創刊

◇75 2020.7 A4 10p

本多政重ー関ヶ原を秀家と共に戦った強者(続)

内池 英樹

秀家年少期における大名宇喜多氏の意思決定

大西 泰正

宇喜多氏の城々(10) 宇喜多期の富山城

出宮 徳尚

物語直家記伝 西大寺辺の城 第45回 転変(1)

山重十五郎

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156

年1500円 1986年創刊

<http://homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm>

◇151 2020.8 B5 29p

戦国・織豊期における宇喜多氏の家中編制(一)

一主に「戸川家譜」・「浦上宇喜多両家記」を素材として

森 俊弘

史料紹介 「寛永十五年国絵図」についての書付

倉地 克直

参加記 就実大学吉備地方文化研究所特別講演会

南郷晃子「岡山の武家と怪異譚」

加栗 貴夫

訃報 ひろたまさき(廣田昌希)さん

(K)

広島県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内

TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊 <http://hiroshima-u.ac.jp/geishi/>

◇315・316 2020.7 A5 102p 600円

特集 災害時における歴史資料レスキュー活動の取り組みと課題

一平成30年7月西日本豪雨災害を事例に

特集「災害時における歴史資料レスキュー活動の取り組みと課題

一平成30年7月西日本豪雨災害を事例に一」にあたって

被災文書の保全活動を考えるー広島県立文書館での活動を通じて 西向 宏介

広島歴史資料ネットワークの再建と広島大学文書館でのレスキュー

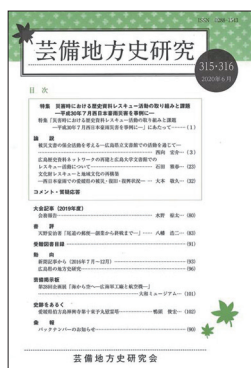
活動について

石田 雅春

文化財レスキューと地域文化の再構築

ー西日本豪雨での愛媛県の被災・復旧・復興状況

大本 敬久



コメント・質疑応答

書評 天野安治著『尾道の郵便—創業から終戦まで』

八幡 浩二

新聞記事から(2016年7月～12月)

広島県の地方史研究 雑誌目録／研究活動

芸備掲示板 第28回企画展「海から空へ—広島海軍工廠と航空機—」

大和ミュージアム

史跡をあるく 愛媛県伯方島禪興寺第十東予丸慰霊塔

文・写真 鴨頭俊宏

*2018年7月に西日本を襲った豪雨災害は、広島県に甚大な災害をもたらし、人命や家屋はもとより、地域の多数の貴重な歴史資料も流失や水損被害を受けた。本特集は関係機関やボランティアらによって実施された被災資料レスキューの取り組みを踏まえて、2019年6月に芸備地方史研究会が開催したシンポジウム「災害時における歴史資料レスキュー活動の取り組みと課題—平成30年7月西日本豪雨災害を事例に一」の記録である。

西向宏介「被災文書の保全活動を考える—広島県立文書館での活動を通じて」は、職員総出で被災文書レスキュー・保全活動に当たった経験から、災害対応に備えた史料所在情報の把握と共有化と、被災文書の活用と災害史料研究の必要性を課題として上げる。また、石田雅春「広島歴史資料ネットワークの再建と広島大学文書館でのレスキュー活動について」では、筆者が大学文書館と県立文書館の調整に当たったことから、公的機関における法的根拠としての相互協力協定の拡充、ボランティア活動の平時における継続、家族を含めた職員の安全確保を課題に上げている。とりわけ最後の一点はこれまで余り語られてこなかったことであるが、レスキューに従事する上での大前提であると思う。愛媛県の伊予史談会から参加した大本敬久「文化財レスキューと地域文化の再構築—西日本豪雨での愛媛県の被災・復旧・復興状況」は、過去の災害を忘却することのないよう警告する。

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 Tel.084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇215 2020.9 A4 16p

備後国衆列伝(3) 神石郡の有木氏

田口 義之

中世石造物の調査報告

文責・篠原芳秀

小林悠一のかんたん古文書講座(2)

小林 悠一

研究レポート 福山城小丸山考える(1)—その構造と役割

瀬良 泰三

田口義之の備後山城50選(40) 福島氏の支城 尾関山城

郷土探訪 今津小学校を偲んで 再編成=遺芳丘小学校(旧今津小学

校)の誕生と懐かしい写真

岡田宏一郎

読者便り コロナウィルスを封ぜよ、それは笑い！
近世福山の歴史講座 水野時代の朝鮮通信使
備後史談 『日本書紀』の吉備国(1) 吉備国の誕生

後藤 匡史
高木 康彦
若林 啓文

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊

◇112 2020.8 A4 10p

日記に見る大正七年「スペイン風邪」の流行
明治末期における庶民の病氣事情—三次町にあった薬店の広告から
三次盆地の前方後円墳(20) 池田第一号古墳—調査報告
ある動員学徒の証言—海軍航空隊可部基地の建設に関わって

森岡 晋
中畑 和彦
加藤 光臣
立畑 春夫

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇353 2020.8 B5 12p

今月の各地 ヤミ市
日本の牛と馬、交通の歴史(3)
消えゆく三原の近代化遺産(1) 倉田帆布合資会社
神明当屋帖 その一 より(2)

大谷 和弘
三好 邦範
西村 雅幸
定森 總治

◇354 2020.9 B5 12p

今月の各地 郷土を愛して
日本の牛と馬、交通の歴史(4)
消えゆく三原の近代化遺産(2) 須波駅駅舎／(3) 能地漁港の防波堤
と雁木

正兼 鐵夫
三好 邦範
西村 雅幸
定森 總治

神明当屋帖 その一 より(3)

◇355 2020.10 B5 12p

今月の各地 秋祭りと奉納相撲
日本の牛と馬、交通の歴史(5)
消えゆく三原の近代化遺産(4) 東洋繊維
神明当屋帖 その一 より(4)

上田 茂
三好 邦範
西村 雅幸
定森 總治

徳 島 県

◆史 窓 徳島地方史研究会

〒779-3233名西郡石井町石井字石井1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806

◇50 2020.7 A5 136p 1389円

「御壁書」・「裏書」とその成立背景をめぐって

宇山 孝人

近代徳島における文化財保護の萌芽

石尾 和仁

史料紹介 大坂町奉行所与力・同心の四国出役関係史料について

一古郷家文書「諸御触記録帳」の紹介と翻刻

松永 友和

書評 宇山孝人編『麻績を学ぶ(歴史編)』を読んで

一地域史をめぐる史実と歴史認識

町田 哲

(続)特集 徳島地方史研究の現在地 近代史研究の現状

松下 師一

50号記念小特集

五〇周年記念座談会

立石恵嗣／石尾和仁／徳野隆

『史窓』総目録

史窓のひろば一追悼 三好昭一郎氏

三好昭一郎氏の逝去を悼んで

徳野 隆

三好昭一郎氏を悼む「思い出」

松本 博

徳島県地方史研究文献目録(2018年10月～2019年9月)

愛媛県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇137 2020.3 A4 32p

四国中央市の古墳(16) 横地山古墳

正岡 睦夫

法隆寺五重塔秘宝の調査(下)

名本二六雄

江戸・明治期砥部陶磁器窯跡(1) 七折坂本窯址

十亀 幸雄

◇138 2020.4 A4 20p

四国中央市の古墳(17)

高原10号墳・高原11号墳 付大空・高原古墳群

正岡 睦夫

愛媛における江戸・明治期の銅製錬遺跡(20)

別子銅山木方吹所跡(中)

十亀 幸雄

◇139 2020.5 A4 24p

愛媛県の漢式鏡(17) 金子山鏡(3)

名本二六雄

四国中央市の古墳(18) 奥殿古墳 付：日向山古墳群

正岡 睦夫

愛媛における江戸・明治期の銅製錬遺跡(21)

別子銅山木方吹所跡(下)

十亀 幸雄

◇140 2020.6 A4 20p

北条・奥道後ゴルフ場建設に伴う発掘調査の写真

河原 茂

たより 今治からの便り

—鵜久森さん、古墳調査そして新型コロナの日々

井出 耕二

四国中央市の古墳(19) 丸藪古墳

正岡 睦夫

別冊季刊考古学第32号『上黒岩磐陰と縄文草創期』

伊予の近世城郭石垣構築技術(4) 宇和島城石垣(3)

—本丸北角矢倉石垣と本丸御殿弓矢倉石垣

十亀 幸雄

◇141 2020.7 A4 24p

愛媛県の漢式鏡(18) 金子山鏡(4)

名本二六雄

北条の古墳(1) 櫛玉比売命神社古墳(上)

正岡 睦夫

四国の舟形系水船(29) 久万高原町六十余州神社水船

十亀 幸雄

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇398 2020.7 A5 46p 750円

伊予宝冠寺山伏墓地—中世墓地の終焉と近世墓地の出現

十亀 幸雄

阿波大西氏と戦国期宇摩郡に関する一考察

—『大西軍記』の史料批判を踏まえて

加藤 弘

史料紹介 『船大工町中由緒書』(抜粋)—宇和島城下船大工由緒書

渡邊 忠司

書評 水本邦彦著『海辺を行き交うお触れ書き 浦触の語る徳川情報

網』

山下堅太郎

郷土その日その日 自令和元年12月至令和2年5月

編集部(柚山俊夫)

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇98 2020.9 A4 8p

石の証言 湖南省洞庭湖畔 湖南省洞庭湖畔(トンティンフー) 45×

30 石灰岩 第二十碇泊場司令部 湖南省 岳州 洞庭湖畔

『唐詩選』 杜甫とは

実は「人種」は存在しない 『科学の人種主義とたたかう』 内容紹介

著者略歴: アンジェラ・サイニー

人種差別、Black Lives Matter、反差別国際運動(IMADR)、民族差別、

女性差別、戦時性奴隷 Killing of George Floyd

補遺 杉尾宏「南邦和氏の講演、『魂の詩人“尹東柱”から思ったこ

と」(「石の証言」前号(97号))

「石井式濾水器が旧金沢陸軍病院に保管されていた」／これからの「会」
の活動計画／宮崎県日中友好運動懇談会「写真で読む 県民の戦争
と平和の100年」を発刊予定

沖縄戦と「黎明之塔」

野崎 眞公

タイヤ大手 コンチネンタルが反省・社史検証(文責・編集子)／紫金
草少女像

新著書 民主文学 8月号 2020年7月8日発売 日本民主主義文学会
／「地域から創る民主主義—福岡からの発言」宮下正和／「西南戦争
と飢餓隊 “平部嶺南の二つの日誌を読みとく”」河野富士夫著
トビックス 米軍、戦時の宮崎県調査 上陸作戦、占領政策反映か

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇239 2020.7 B5 8p

7月定例会レジュメ 研究会の継続・発展に向けて

一研究会設立四五周年の集い

事務局

8月定例会のレジュメ 歴史の舞台 与那覇を歩く

下地 和宏

城辺・友利ら訪ねて—5月定例会を終えて

下地 和宏

下地・河満をめぐる—6月定例会を終えて

久貝 春陽

沖縄県立博物館・美術館エントランスミニ展示

『稲村賢敷が追いかけた倭寇の姿』における新たな試み

山本 正昭

宮古島市史第二巻祭祀編(中)『みやこの祭祀』悉皆調査(平良地区)

久貝 弥嗣

平和展「記憶が生んだ表現」の紹介

與那覇史香

宮古島市史第三巻『自然編Ⅰ部 みやこの自然別冊』悉皆調査

(平良地区)

久貝 春陽

故梅津茂雄氏収集宮子上布の寄贈について

與那覇史香

「歴史の教訓」に依拠して…

仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆知りたい!宮城の歴史 初めて世界一周した日本人 石巻若宮丸漂流民物語

石巻若宮丸漂流民の会(〒236-0052 横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方

TEL045-773-4643) 協力：特定非営利活動法人 NPOみなとしほがま (〒985-0016 宮城県塩竈市港町1-4-1 TEL080-1833-3710) 2020年8月 A4 8頁

寛政5年(1793)11月、暴風雨による遭難・漂流という事故に見舞われた石巻の千石船「若宮丸」の、津太夫・儀兵衛・多十郎・左平をはじめとする乗組員16名の数奇な運命をたどる。千石船と漂流民／長い長い12年の旅路／若宮丸漂流民の足跡／訪ねてみよう！若宮丸漂流民と千石船の時代／若宮丸漂流民のふるさと 探訪マップ 石巻・宮戸・寒風沢

◆見て楽し遊んで楽し 江戸のおもちゃ絵 Part.1

たばこと塩の博物館編・刊 (〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3 TEL03-3622-8801) 2020年9月 A4 14頁

たばこと塩の博物館の秋季特別展パンフレット。双六、十六むさし、福笑い、着せ替えやかつらつけ、物尽くしなど、主に子どもを対象とした浮世絵、江戸時代の多彩なおもちゃ絵を集め、その楽しさを紹介する。はじめに／18世紀のおもちゃ絵／花開く19世紀のおもちえ絵(物尽くしおもちゃ絵、昔話のおもちゃ絵、細工物おもちゃ絵(組み上げ絵・廻り灯籠)、役者のおもちゃ絵、天神様のおもちゃ絵、ゲームのおもちゃ絵)

◆山下日記－昭和5年・11年・12年 大和市史資料叢書17

大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財係編 大和市 (〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間1-1-1 TEL046-260-5225) 2020年3月 B5 218頁

大和市史編纂事業により収集された資料を紹介する資料叢書第17集。前集(2019年3月)に続き、大和市柳橋在住の山下光治氏の父武雄氏の昭和5年(1930)および同11年・12年の日記を翻刻・収録する。昭和五年(昭和五年一月～十二月)、参考資料 (1) 金銭出納録／昭和十一年(昭和十一年一月～十二月)、参考資料 (1) 今日の運勢・(2) 出納録・(3) 収支決算表／昭和十二年(昭和十二年一月～十二月)、参考資料 (1) 今日の運勢・(2) 出納録・(3) 収支決算表

◆大和市の歴史

大和市役所文化スポーツ部文化振興課編 大和市(同上) 2020年3月 A5 800頁
大和市域の主な歴史事象について『大和市史』(1983～)をはじめとする各種市刊行物を横断的に引用してまとめるとともに、市政施行の1959年(昭和34年)から2019年(令和元年)までの市域での出来事を年表形式で掲載した、多角的に眺める大和市の歴史。発刊に寄せて(大木哲)／第一章 原始・古代(市域の原始・古代のあらまし、大地の成り立ち―市域の地形、日本考古学史上の画期―旧石器時代の市域と月見野遺跡群、縄文点描―縄文時代の市域、空白の時代―弥生・古墳時代の市域、ひろがる村―奈良・平墳時代の市域)／第二章 中世(市域の中世のあらまし、渋谷重国と和田義盛―鎌倉時代の市域、足利直義と鶴間一室町時代の市域、小田原北条氏の支配―戦国時代の市域、福田開拓九人衆―福田郷の研究、

市域の中世城館趾―深見城を中心に)／第三章 近世(市域の近世のあらまし、村のお殿様―市域の旗本たち、深見藩―大名・坂本重治、村の暮らし―江戸時代の年貢と災害、小さな幕末史―幕末の市域の様相、交通の要衝―市域の街道)／第四章 近代(市域の近代のあらまし、ご一新―明治維新と村の改革、大和誕生―「大和」の地名の由来、おカイコ様―近代における養蚕業の発展、関東大震災と大和―近代の市域の様相、鉄道開通と幻の文化都市―林間都市計画、軍都・大和一厚木飛行場の建設と都市計画)／第五章 現代(地域の現代のあらまし、大和市の誕生―戦後の市域と市制施行、都市化の進展―高度経済成長下の市域)／大和市現代史年表―市制施行以降

◆永野鹿鳴荘ガラス乾板資料調査概報(4)・(5) 私立大学研究ブランディング

事業 『帝塚山プラットホーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進
帝塚山大学奈良学総合文化研究所(鷺森浩幸・杉崎貴英・服部敦子)編・刊(〒630-8501 奈良市帝塚山7-7-1 TEL0742-48-8842) 2020年3月 A4 96頁・125頁
永野太造氏(1922～1990)が撮影した文化財写真を現像・販売・出版する際に使用した「永野鹿鳴荘」名のガラス乾板資料(永野太造写真資料、総6934枚)の調査概報第4号及び最終第5号。帝塚山大学に寄贈された写真の撮影対象や乾板の状態、硫酸紙への書き込みなどの基本データの整理を通して、帝室博物館(奈良国立博物館)に隣接した奈良市登大路町にて茶店を営み、併せて仏教美術関連書籍の出版、仏像写・絵葉書の販売も行っていた永野太造氏の活動や業績を明らかにする。この第5号をもって、全ガラス乾板データの紹介となる。序言(所長 鷺森浩幸)／例言／永野鹿鳴荘ガラス乾板資料目録4／永野鹿鳴荘ガラス乾板資料目録5

◆講座・古代王権の興亡 第4回 日本の神話について(その1)

―日本神話の特殊性 妙見山麓遺跡調査会紀要32

神崎勝著 NPOみょうけん(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-0555) 2020年9月 A4 14頁

NPOみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第4回(2020年8月22日)の記録。神話とは／印欧系の神話／中国の神話／日本神話と朝鮮神話の特殊性／卵生神話の分布／日本神話の特質／質疑／注(人類起源神話、卵生型神話補遺)／主な参考文献

◆島津氏と霧島修験 霊山霧島の山岳信仰・その歴史と民俗 みやざき文庫142
森田清美著 鉾脈社(〒880-8551 宮崎市田代町263 TEL0985-25-1758) 2020年8月 B6 281頁 2000円＋税

中世から近世にかけて島津氏と深く関わった霧島修験。その活動を多角的に掘り起こし、修験の歴史に新たな光をあてる。はじめに／第一章 霧島修験(霧島修験の基層をなす神籬信仰と御岳信仰、霧島山の修験道場遺跡・胎内くぐり石、高千穂峰でのコロナ禍退散祈願と霊山胎内くぐり)／第二章 軍神霧島神(島津久

豊・立久と霧と間神、島津貫久と軍神としての霧島神、霧島山の白鳥権現社への祈願、神楽による霧島神への立願と戦勝祝い、霧島・鶴戸・妻霧島への御祈祷、豊臣秀吉に敗れた後も霧島権現へ御神領の寄進 白鳥権現へ願書、庄内退治成就(庄内の乱平定)のため霧島山への島津家久願文、修験者は兵法者・忍者・戦場での祈祷師)／第三章 島津氏と霧島修験者―歴史を動かした修験の活躍(霧島修験愛甲氏の伊東氏退散と異賊調伏祈祷にみる修験の実相、霧島山不動堂明観寺再興と修験、島津吉貫の西御在所霧島六所権現の復興と修験、霧島山の主な修験者たち)／第四章 御霊信仰と霧島修験(島津氏の大施餓鬼実施と豊後塚の造立、島津氏の伊東氏兵卒怨霊供養と法華嶽寺保護、末代まで崇る修験者の怨霊と浄化)／第五章 民俗信仰と霧島修験―霧島山岳信仰の展開(霧島神阿弥陀如来の垂迹神と修験、霧島山はおのごろ島か、習合宗教系隠れ念仏地帯と霧島修験、稲の豊作を祈って―霧島講の広がり―と修験)／参考史資料・文献／あとがき

◆後記

岩田書院から白鳥舎に発行元が移った『地方史文献年鑑』2019年版の編集が、11月半ばの刊行を目途に最終段階に入っています。毎年全国の道府県立図書館と個人協力者に補充調査を依頼していますが、そのさなかに新型コロナウイルスの感染が顕在化しました。困難な状況にも拘わらず、殆どの図書館、個人協力者から期日までに回答をいただくことができました。ただただ感謝を申し上げるばかりです。本号で紹介した『芸備地方史研究』315・316(p.56)に、西日本豪雨被災資料レスキューに関わる論考を執筆された広島県立文書館の西向宏介氏には、以前に補充調査を依頼していました。同氏はこの論考で、「せっかく救った文書をその地域の歴史の掘り起こしのために活用できるようにしていきたい。何もしなければ、失われてしまっていたはずの文書群を紐解き、失われていたはずの情報から地域の歴史を学ぶことの意義は少なくない。そのことが新たな地域史への関心と呼び起こし、同時に、歴史資料としての文書・記録を守ることの意義を再認識することにもつながっていくと思うからである。」と記しています。素晴らしい文章に心打たれました。(飯澤)

地方史情報 146 2020年(令和2年)11月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。